

平成 30 年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

平成 30 年 11 月

大仙市 企画部 総合政策課

1 はじめに

1.1 市政評価について	4
1.2 調査の種類	4
1.3 調査の手法	5
1.4 調査票	5
1.5 調査期間	5
1.6 集計上・分析上の注意事項について	5

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	8
2.2 回収率	8
2.3 回答者の属性	8
2.4 満足度及び重要度	10
2.4.1 満足の度合い	10
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	12
2.4.3 満足度における属性別比較	13
2.4.4 重要の度合い	17
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	19
2.4.6 重要度における属性別比較	20
2.4.7 項目別要望度	24
2.4.8 満足度、重要度の総括	26
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	27
2.5 さらに推進すべき取り組み	29
2.5.1 産業分野に関する設問について	29
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	32

2.5.3	健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	35
2.5.4	環境安全分野に関する設問について	38
2.5.5	都市基盤分野に関する設問について	41
2.5.6	教育・交流分野に関する設問について	44
2.5.7	地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	47
2.5.8	さらに推進すべき取り組みの総括	50
2.6	大仙市の住みやすさについて	53
2.6.1	「大仙市は住みやすいか」について	53
2.6.2	「大仙市に住み続けたいか」について	54
2.6.3	大仙市の住みやすさについての属性別比較	55
2.7	経年比較	58
3	市民による個別事業評価	
3.1	市民全体を調査対象とした個別事業評価	72
3.1.1	市の広報活動について	72
3.1.2	コミュニティFM（FMはなび）の利用について	81
3.1.3	敬老の日事業について	96
3.1.4	住宅リフォーム支援事業について	112
3.2	事業対象者層を調査対象とした個別事業評価	119
3.2.1	母子保健事業について	119
3.2.2	成人保健事業について	135
4	自由意見	152
5	資料	
5.1	平成30年度「市民による市政評価」調査票	179
5.2	平成30年度「市民による個別事業評価」【母子保健事業】調査票	195
5.3	平成30年度「市民による個別事業評価」【成人保健事業】調査票	201

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成 18 年度から継続的に実施してきました。

平成 28 年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施し、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めてきた。

個別事業評価について、今年度は、広く市民の皆さんを対象とする調査と、制度の利用者など特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施した。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第 2 次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」、「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- ◆満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- ◆重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか）
- ◆今後さらに推進すべき取り組み
- ◆本市の住みやすさ

(2) 市民による個別事業評価

市が実施している次の事業について、認知度、利用度、意識等を調査した。

- A. 市民全体（年代・性別を問わない）を調査対象とした事業 4 事業
- B. 事業対象者層を調査対象とした事業 2 事業

No.	種別	事業名
1	A	広報活動事業
2	A	コミュニティFM（FMはなび）事業
3	A	敬老の日事業
4	A	住宅リフォーム支援事業
5	B	母子保健事業
6	B	成人保健事業

1.3 調査の手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

1.4 調査票

本調査は、次の3種類の調査票により、それぞれの対象者に対して実施した。

- ◆平成30年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価」の種別Aの4事業を含む）
- ◆平成30年度「市民による個別事業評価」 「母子保健事業」
- ◆平成30年度「市民による個別事業評価」 「成人保健事業」

1.5 調査期間

平成30年6月1日（金）～6月22日（金）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 本調査では、各調査の属性においては無回答を含めた回答者数を「N」とし、その他の調査項目においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答を除いた有効回答者数を「N」として表記しており、各設問により母数となる回答数「N」は異なっている。
- 各区分における集計では不明者を除いているため、区分ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しないことがある。
- 市政評価での満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他設問での構成比（%）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（%）は、集計対象者に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

18歳以上、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

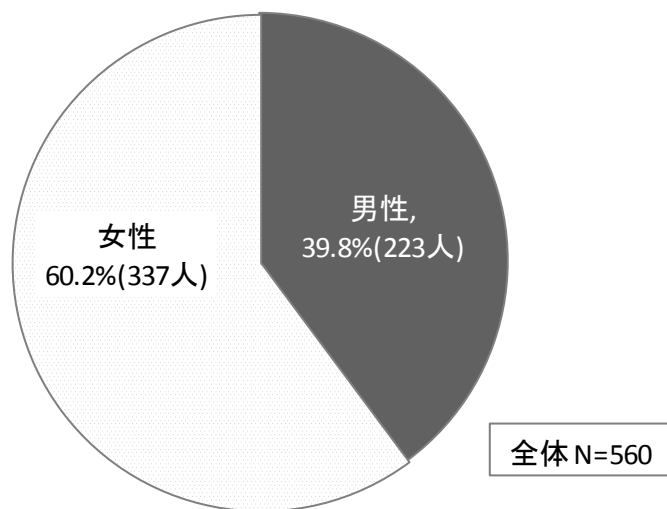
2.2 回収率

回収数・・・560

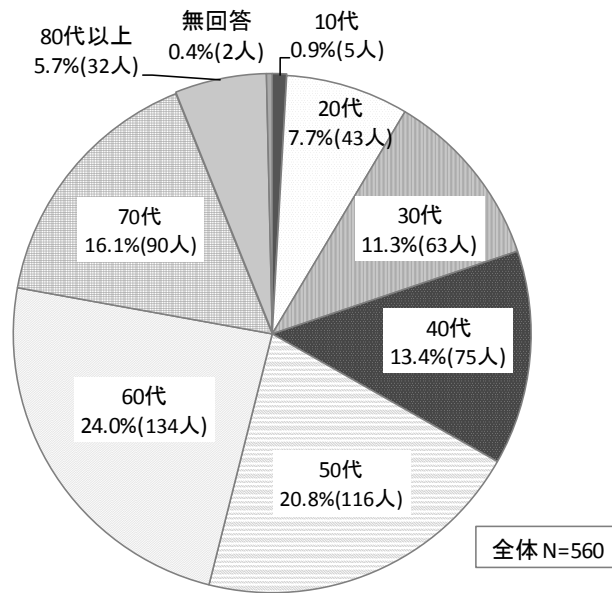
回収率・・・56.0%

2.3 回答者の属性

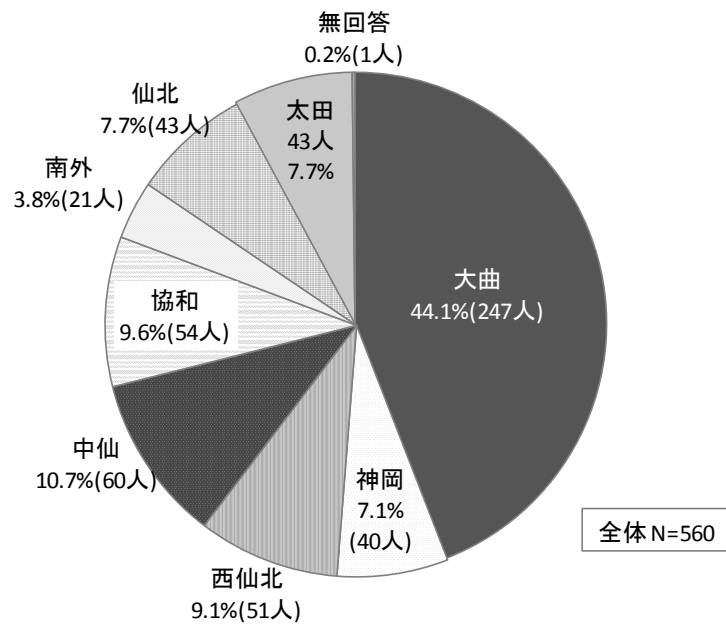
図表1 回答者の性別の内訳



図表 2 回答者の年齢の内訳



図表 3 回答者の居住地の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、昨年度と同様、「花火産業構想」が3.57（昨年度：3.65）と最も高く、次いで「自然・衛生環境」が3.40（昨年度：3.40）、「上・下水道」が3.38（昨年度：3.29）となっている。

一方、満足度の低い項目は、「雇用・就労」が2.41（昨年度：2.34）で昨年度と同様最も低く、次いで「空き家対策」が2.57（昨年度：2.59）、「観光」が2.60（昨年度：2.60）となっている。

昨年度と比較すると、全体的に小幅な変動があるものの、上位及び下位の10項目に昨年度と大きな変化は見られない。

いずれの項目でも0.15以上の増減は生じなかったが、昨年度と比較し満足度が最も大きく増加した項目は、「上・下水道」で0.09、「保健・医療」で0.08の増加、反対に最も大きく減少した項目は、「学校教育」で0.14、「地域活性化」で0.09の減少となっている。

図表 4 満足度（点数順）

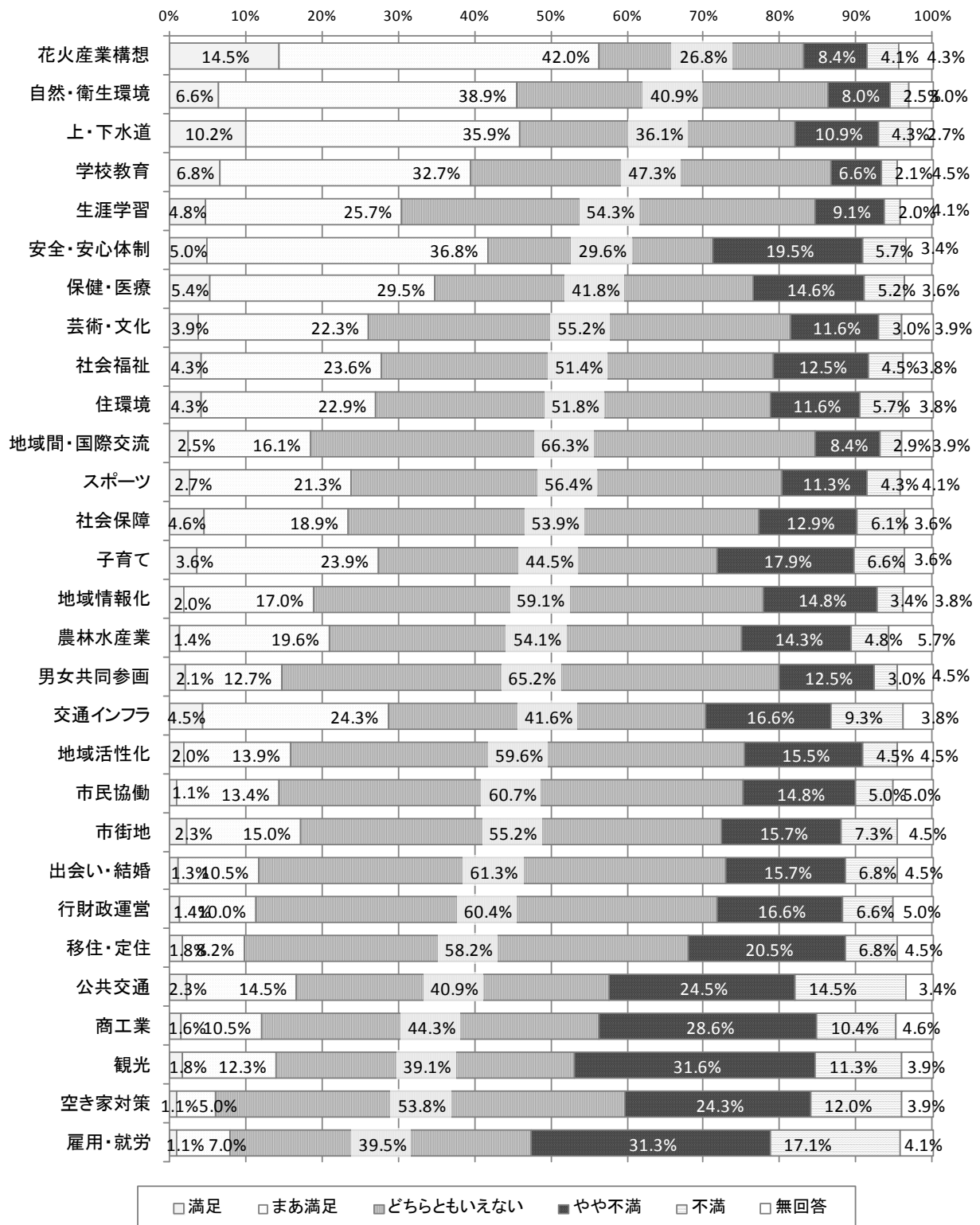
順位		項目	満足度 ※			
H30	H29		H30	H29	増減 (H30-H29)	
1	1	【花火産業構想】 さまざまな分野における大曲の花火ブランドの戦略的推進について	↗	3.57	3.65	▲ 0.08
2	3	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくり	←	3.40	3.40	0.00
3	4	【上・下水道】 快適な暮らしの基盤となる上・下水道等の整備について	↖	3.38	3.29	0.09
4	2	【学校教育】 学習意欲と能力を養う学校教育の充実について	↗	3.37	3.51	▲ 0.14
5	5	【生涯学習】 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	←	3.23	3.27	▲ 0.04
6	6	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化について	↗	3.16	3.23	▲ 0.07
6	8	【保健・医療】 健康増進にすすんで取り組める環境や医療体制について	↖	3.16	3.08	0.08
8	7	【芸術・文化】 芸術、文化活動、文化財に触れる機会の創出について	←	3.13	3.12	0.01
9	11	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↖	3.11	3.04	0.07
10	9	【住環境】 市営住宅や宅地、公園、緑地の整備について	←	3.09	3.06	0.03
11	10	【地域間・国際交流】 地域間ネットワークの強化や国際化の推進について	←	3.07	3.05	0.02
11	14	【スポーツ】 スポーツ機会の充実やスポーツを通じた地域のにぎわい創出、交流人口の拡大について	↖	3.07	3.01	0.06
13	15	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度等の適正な実施について	←	3.03	2.99	0.04
14	19	【子育て】 安心して子育てできる社会環境の整備について	←	3.00	2.96	0.04
15	15	【地域情報化】 情報基盤の整備と地域の情報発信の推進について	←	2.99	2.99	0.00
16	18	【農林水産業】 農畜水産物の消費拡大や生産基盤整備などの取り組み・支援について	←	2.98	2.97	0.01
16	12	【男女共同参画】 男女共同参画意識の醸成と女性の参画推進について	←	2.98	3.03	▲ 0.05
16	15	【交通インフラ】 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	←	2.98	2.99	▲ 0.01
19	13	【地域活性化】 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↗	2.93	3.02	▲ 0.09
20	20	【市民協働】 市民と行政などが協働により推進する地域づくりについて	←	2.90	2.94	▲ 0.04
21	22	【市街地】 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の整備について	←	2.89	2.85	0.04
22	23	【出会い・結婚】 出会い・結婚の促進に向けた取り組みについて	←	2.83	2.79	0.04
23	21	【行財政運営】 市の行財政運営の効率化等について	←	2.82	2.86	▲ 0.04
24	24	【移住・定住】 市の魅力発信等による、移住・定住の促進について	←	2.77	2.77	0.00
25	26	【公共交通】 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↖	2.65	2.59	0.06
26	26	【商工業】 魅力ある産業の創出や地場産業への支援及び企業誘致について	←	2.63	2.59	0.04
27	25	【観光】 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	←	2.60	2.60	0.00
28	26	【空き家対策】 空き家の適正管理と利活用の推進について	←	2.57	2.59	▲ 0.02
29	29	【雇用・就労】 地元の若者やAターン希望者などの就業希望者に対する各種支援について	↖	2.41	2.34	0.07

※満足度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↗	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表5 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.3 満足度における属性別比較

性別による上位及び下位の項目は、多少の前後はあるものの、全体と比較して大きな変化はない。全般的に、女性の満足度の方が高い。

年代別に見ると、全年代において「花火産業構想」が上位に挙がっており、80代を除く年代においては「自然・衛生環境」が、10代を除く年代においては「上下水道」、「学校教育」も上位に挙げられている。また、10代と80代では「保健・医療」、20代では「社会福祉」も上位に挙げられている。

一方、下位項目については、全年代において「雇用・就労」、「空き家対策」が挙げられており、20代を除く年代では「公共交通」も挙げられている。また、10代では「出会い・結婚」、「子育て」、20代と30代では「移住・定住」も挙げられている。

地域別に見ると、全地域において「花火産業構想」、「自然・衛生環境」が上位に挙げられており、中仙地域では「保健・医療」と「芸術・文化」、協和地域では「住環境」も挙げられている。下位項目については、全地域において「雇用・就労」、「空き家対策」が挙げられており、中仙地域では「出会い・結婚」、仙北地域では「移住・定住」も挙げられている。

図表6 性別による満足度

【満足度】

■男性

(上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.52
2	上・下水道	3.37
3	自然・衛生環境	3.34
4	学校教育	3.32
5	安全・安心体制	3.20

(下位)

順位	項目	満足度
24	移住・定住	2.65
	公共交通	2.65
26	観光	2.56
27	空き家対策	2.53
28	商工業	2.50
29	雇用・就労	2.36

■女性

(上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.60
2	自然・衛生環境	3.45
3	学校教育	3.40
4	上・下水道	3.38
5	生涯学習	3.28

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	2.71
26	公共交通	2.64
27	観光	2.63
28	空き家対策	2.60
29	雇用・就労	2.45

図表 7 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	4.60
2	花火産業構想	4.40
	スポーツ	4.40
	自然・衛生環境	4.40
	住環境	4.40

(下位)

順位	項目	満足度
22	子育て	3.00
	安全・安心体制	3.00
	公共交通	3.00
	地域間・国際交流	3.00
	行財政運営	3.00
	27	出会い・結婚
29	空き家対策	2.80
	雇用・就労	2.60

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	4.07
2	自然・衛生環境	3.70
3	上・下水道	3.53
4	学校教育	3.42
5	社会福祉	3.33

(下位)

順位	項目	満足度
25	移住・定住	2.74
26	商工業	2.72
	空き家対策	2.72
28	観光	2.67
29	雇用・就労	2.30

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.54
2	自然・衛生環境	3.37
	上・下水道	3.37
4	学校教育	3.32
5	生涯学習	3.21

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.63
26	観光	2.62
27	移住・定住	2.60
28	雇用・就労	2.49
	空き家対策	2.49

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.62
2	自然・衛生環境	3.44
3	学校教育	3.31
	生涯学習	3.31
5	上・下水道	3.21

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.73
26	空き家対策	2.63
27	観光	2.60
28	商工業	2.56
29	雇用・就労	2.46

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.44
2	上・下水道	3.42
3	自然・衛生環境	3.41
4	学校教育	3.37
5	生涯学習	3.16
	芸術・文化	3.16

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.58
26	公共交通	2.57
27	観光	2.53
28	商工業	2.49
29	雇用・就労	2.22

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.56
2	学校教育	3.37
3	自然・衛生環境	3.32
4	上・下水道	3.31
5	生涯学習	3.22

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.59
26	観光	2.51
27	商工業	2.50
28	雇用・就労	2.48
29	空き家対策	2.44

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.51
2	花火産業構想	3.46
3	学校教育	3.44
4	安全・安心体制	3.43
5	自然・衛生環境	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	2.78
26	空き家対策	2.73
	公共交通	2.73
28	観光	2.64
29	雇用・就労	2.53

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.48
2	保健・医療	3.44
3	学校教育	3.36
4	芸術・文化	3.31
5	上・下水道	3.30

(下位)

順位	項目	満足度
24	子育て	2.85
	男女共同参画	2.85
26	商工業	2.77
27	雇用・就労	2.48
28	空き家対策	2.44
	公共交通	2.44

図表 8 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.65
2	学校教育	3.36
3	上・下水道	3.35
4	自然・衛生環境	3.33
5	生涯学習	3.25

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.68
26	商工業	2.63
27	空き家対策	2.61
28	観光	2.55
29	雇用・就労	2.42

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	学校教育	3.68
2	上・下水道	3.62
	生涯学習	3.62
4	花火産業構想	3.55
5	自然・衛生環境	3.54

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.81
26	商工業	2.66
27	観光	2.65
	雇用・就労	2.65
29	空き家対策	2.64

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.56
2	学校教育	3.41
3	上・下水道	3.30
4	自然・衛生環境	3.20
	生涯学習	3.20

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.59
26	商工業	2.51
27	観光	2.41
28	空き家対策	2.39
29	雇用・就労	2.12

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.35
2	花火産業構想	3.23
3	学校教育	3.21
4	保健・医療	3.14
5	芸術・文化	3.12

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.67
26	観光	2.62
27	公共交通	2.58
28	空き家対策	2.56
29	雇用・就労	2.42

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.91
2	花火産業構想	3.63
3	学校教育	3.51
4	自然・衛生環境	3.40
5	住環境	3.36

(下位)

順位	項目	満足度
25	観光	2.65
26	空き家対策	2.57
27	雇用・就労	2.56
28	商工業	2.53
29	公共交通	2.38

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.53
2	自然・衛生環境	3.47
3	社会保障	3.33
	安全・安心体制	3.33
5	学校教育	3.28

(下位)

順位	項目	満足度
24	出会い・結婚	2.83
	公共交通	2.83
26	空き家対策	2.81
27	観光	2.78
28	商工業	2.67
29	雇用・就労	2.50

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.69
2	花火産業構想	3.64
3	上・下水道	3.52
4	安全・安心体制	3.45
5	学校教育	3.34
	生涯学習	3.34

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.87
26	移住・定住	2.79
27	空き家対策	2.66
28	商工業	2.55
29	雇用・就労	2.46

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.73
2	花火産業構想	3.42
3	安全・安心体制	3.26
4	住環境	3.22
5	学校教育	3.17
	芸術・文化	3.17

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.66
26	観光	2.65
27	空き家対策	2.39
28	公共交通	2.24
29	雇用・就労	2.23

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、昨年度と同様、「雇用・就労」が4.41（昨年度：4.44）と最も高く、次いで「安全・安心体制」が4.36（昨年度：4.26）、「子育て」が4.33（昨年度：4.36）となっている。

一方、重要度の低い項目は、「市街地」が3.52（昨年度：3.54）で最も低く、「スポーツ」（昨年度：3.42）、「地域間・国際交流」（昨年度：3.50）がともに3.53となっている。

昨年度と比較すると、昨年度上位だったの項目が減少する中で、「安全・安心体制」のみが増加していることから、「安全・安心体制」の順位が上昇している。その他、「花火産業構想」が大きく減少していることから、下位に後退している。

昨年度と比較し重要度が最も大きく増加した項目は、「スポーツ」で0.11、「安全・安心体制」で0.10の増加、反対に最も大きく減少した項目は、「花火産業構想」で0.18、「地域活性化」で0.09の減少となっている。「花火産業構想」の0.18の減少は、昨年度との比較の中で最も大きい変化となっている。

図表 9 重要度（点数順）

順位		項目	重要度 ※			
H30	H29		H30	H29	増減 (H30-H29)	
1	1	【雇用・就労】 地元の若者やAターン希望者などの就業希望者に対する各種支援について	←	4.41	4.44	▲ 0.03
2	4	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化について	↗	4.36	4.26	0.10
3	2	【子育て】 安心して子育てできる社会環境の整備について	←	4.33	4.36	▲ 0.03
4	3	【保健・医療】 健康増進にすすんで取り組める環境や医療体制について	←	4.26	4.30	▲ 0.04
5	5	【商工業】 魅力ある産業の創出や地場産業への支援及び企業誘致について	↘	4.15	4.21	▲ 0.06
6	6	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	←	4.13	4.16	▲ 0.03
7	7	【学校教育】 学習意欲と能力を養う学校教育の充実について	←	4.11	4.10	0.01
8	7	【公共交通】 長寿社会に対応した公共交通の確保について	←	4.09	4.10	▲ 0.01
9	9	【農林水産業】 農畜水産物の消費拡大や生産基盤整備などの取り組み・支援について	←	4.03	4.03	0.00
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度等の適正な実施について	←	3.99	3.96	0.03
11	11	【上・下水道】 快適な暮らしの基盤となる上・下水道等の整備について	←	3.96	3.93	0.03
12	11	【交通インフラ】 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	←	3.93	3.93	0.00
13	13	【観光】 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	←	3.91	3.91	0.00
14	15	【行財政運営】 市の行財政運営の効率化等について	←	3.87	3.87	0.00
15	20	【空き家対策】 空き家の適正管理と利活用の推進について	↗	3.82	3.73	0.09
16	16	【移住・定住】 市の魅力発信等による、移住・定住の促進について	←	3.81	3.83	▲ 0.02
17	14	【出会い・結婚】 出会い・結婚の促進に向けた取り組みについて	↘	3.80	3.89	▲ 0.09
18	17	【生涯学習】 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	←	3.78	3.77	0.01
19	17	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくり	←	3.77	3.77	0.00
20	22	【市民協働】 市民と行政などが協働により推進する地域づくりについて	↗	3.74	3.66	0.08
21	21	【地域活性化】 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	←	3.68	3.67	0.01
22	23	【地域情報化】 情報基盤の整備と地域の情報発信の推進について	←	3.64	3.62	0.02
23	24	【住環境】 市営住宅や宅地、公園、緑地の整備について	↗	3.62	3.56	0.06
24	19	【花火産業構想】 さまざまな分野における大曲の花火ブランドの戦略的推進について	↓	3.58	3.76	▲ 0.18
25	24	【男女共同参画】 男女共同参画意識の醸成と女性の参画推進について	←	3.57	3.56	0.01
26	26	【芸術・文化】 芸術、文化活動、文化財に触れる機会の創出について	←	3.56	3.55	0.01
27	28	【地域間・国際交流】 地域間ネットワークの強化や国際化の推進について	←	3.53	3.50	0.03
27	29	【スポーツ】 スポーツ機会の充実やスポーツを通じた地域のにぎわい創出、交流人口の拡大について	↗	3.53	3.42	0.11
29	27	【市街地】 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の整備について	←	3.52	3.54	▲ 0.02

※重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 10 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、全体と比較して上位、下位の大きな違いは見られないが、上位において男性では「商工業」、女性では「社会福祉」、「公共交通」が挙げられている。また、下位においては、男性では「花火産業構想」、女性では「男女共同参画」が挙げられている。

年代別に見ると、全年代で「雇用・就労」、「安全・安心体制」が上位を占めており、70代以上を除く年代では「保健・医療」も挙げられている。また、10代では「農林水産業」も挙げられている。

一方、下位項目については年代によりばらつきがあるが、70代を除く年代において「スポーツ」が挙げられており、30代以下の年代では「地域情報化」、40代、50代、70代では「住環境」も挙げられている。

地域別に見ると、地域ごとに大きな差は見られず、全地域において「雇用・就労」、「安全・安心体制」、「子育て」が上位に挙げられており、神岡地域では「学校教育」、中仙地域では「公共交通」、仙北地域では「社会保障」も挙げられている。下位項目については、大曲地域以外で「市街地」、南外地域以外で「地域間・国際交流」が挙げられており、大曲地域と太田地域では「地域情報化」も挙げられている。

図表 11 性別による重要度

■ 男性

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.41
2	子育て	4.31
3	安全・安心体制	4.28
4	商工業	4.18
5	保健・医療	4.14

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.49
27	スポーツ	3.48
	市街地	3.46
28	地域間・国際交流	3.44
29	花火産業構想	3.40

■ 女性

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.41
2	雇用・就労	4.40
3	子育て	4.34
	保健・医療	4.34
5	社会福祉	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.60
26	地域間・国際交流	3.59
27	市街地	3.56
	男女共同参画	3.56
	スポーツ	3.56

図表 12 年代による重要度

■10代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	5.00
	保健・医療	5.00
	安全・安心体制	5.00
4	学校教育	4.80
5	農林水産業	4.60
	商工業	4.60
	交通インフラ	4.60
	上・下水道	4.60
	移住・定住	4.60

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.60
	地域情報化	3.60
27	社会保障	3.40
	空き家対策	3.40
	住環境	3.40

■20代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.72
2	安全・安心体制	4.67
3	保健・医療	4.51
4	雇用・就労	4.50
5	社会福祉	4.40

(下位)

順位	項目	重要度
25	空き家対策	3.84
	芸術・文化	3.84
27	スポーツ	3.79
28	地域情報化	3.74
29	市街地	3.63

■30代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.56
2	安全・安心体制	4.51
3	雇用・就労	4.40
4	保健・医療	4.33
5	社会福祉	4.32

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.57
26	出会い・結婚	3.56
27	市街地	3.52
28	男女共同参画	3.49
29	スポーツ	3.38

■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.45
2	子育て	4.39
3	保健・医療	4.36
4	安全・安心体制	4.21
5	商工業	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.52
26	スポーツ	3.51
27	地域間・国際交流	3.49
28	男女共同参画	3.36
29	花火産業構想	3.33

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.65
2	安全・安心体制	4.45
3	商工業	4.36
4	子育て	4.30
5	保健・医療	4.27

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.56
26	スポーツ	3.51
27	地域間・国際交流	3.47
28	花火産業構想	3.44
29	市街地	3.42

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.32
2	雇用・就労	4.29
3	子育て	4.25
4	商工業	4.23
5	保健・医療	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.56
26	スポーツ	3.54
27	市街地	3.44
28	芸術・文化	3.43
29	地域間・国際交流	3.41

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.18
2	安全・安心体制	4.14
3	子育て	4.09
4	公共交通	4.06
5	保健・医療	4.04

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.58
26	地域間・国際交流	3.54
27	住環境	3.53
	芸術・文化	3.53
29	花火産業構想	3.41

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	4.25
2	安全・安心体制	4.23
3	雇用・就労	4.22
4	子育て	4.17
5	学校教育	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.45
26	芸術・文化	3.38
27	スポーツ	3.30
28	地域間・国際交流	3.27
29	男女共同参画	3.19

図表 13 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.43
2	安全・安心体制	4.40
3	子育て	4.36
4	保健・医療	4.30
5	商工業	4.18

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.60
26	芸術・文化	3.55
27	スポーツ	3.54
	男女共同参画	3.54
29	地域間・国際交流	3.48

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.39
2	子育て	4.36
3	雇用・就労	4.33
4	保健・医療	4.19
5	学校教育	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
	市街地	3.59
23	芸術・文化	3.59
	地域間・国際交流	3.59
26	住環境	3.54
	男女共同参画	3.54
28	花火産業構想	3.47
29	スポーツ	3.44

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.46
2	商工業	4.28
2	社会福祉	4.28
4	子育て	4.26
5	安全・安心体制	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域間・国際交流	3.53
26	男女共同参画	3.52
27	市街地	3.49
28	スポーツ	3.45
29	芸術・文化	3.32

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.17
2	雇用・就労	4.14
2	子育て	4.14
4	公共交通	4.08
5	農林水産業	4.07

(下位)

順位	項目	重要度
24	地域間・国際交流	3.52
24	男女共同参画	3.52
26	住環境	3.47
27	スポーツ	3.46
28	花火産業構想	3.30
29	市街地	3.26

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.33
2	安全・安心体制	4.32
3	子育て	4.30
4	保健・医療	4.27
5	社会福祉	4.22

(下位)

順位	項目	重要度
24	スポーツ	3.52
24	地域情報化	3.52
26	地域間・国際交流	3.49
27	男女共同参画	3.46
28	花火産業構想	3.45
29	市街地	3.38

■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.50
2	子育て	4.28
3	安全・安心体制	4.22
4	農林水産業	4.18
5	社会福祉	4.11

(下位)

順位	項目	重要度
24	地域情報化	3.50
24	住環境	3.50
24	地域活性化	3.50
27	芸術・文化	3.44
28	男女共同参画	3.39
29	市街地	3.28

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.40
2	安全・安心体制	4.34
3	保健・医療	4.31
4	子育て	4.29
5	社会保障	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.73
26	市街地	3.68
27	地域間・国際交流	3.66
28	スポーツ	3.52
29	花火産業構想	3.49

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.69
2	子育て	4.57
3	安全・安心体制	4.55
4	保健・医療	4.45
5	農林水産業	4.38

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.69
26	地域間・国際交流	3.65
27	花火産業構想	3.48
28	市街地	3.40
29	住環境	3.38

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、昨年度と同順で「雇用・就労」が1.99（昨年度：2.11）、「商工業」が1.52（昨年度：1.62）、「公共交通」が1.44（昨年度：1.51）となっている。

要望度が低い項目は、昨年度と同様、「花火産業構想」が0.01（昨年度：0.11）で、次いで「自然・衛生環境」が0.36（昨年度：0.38）、「芸術・文化」が0.43（昨年度：0.44）となっている。特に「花火産業構想」に関しては、重要度の大幅な減少により、重要度と満足度が均衡する結果となった。

昨年度と比較すると、上位及び下位の5項目に昨年度と大きな変化は見られないが、「安全・安心体制」については、昨年度中位より上位に大きく順位を上げている。

昨年度と比較し要望度が最も大きく増加した項目は、「安全・安心体制」で0.16、「学校教育」で0.15の増加で、「安全・安心体制」については重要度の増加、「学校教育」については満足度の減少が要因であった。また、最も大きく減少した項目は、「出会い・結婚」で0.13、「雇用・就労」、「保健・医療」で0.12の減少で、「出会い・結婚」については重要度の減少、「雇用・就労」、「保健・医療」は共に満足度の増加と重要度の減少が要因であった。

図表 14 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位		項目	要望度 ※			
H30	H29		H30	H29	増減 (H30-H29)	
1	1	【雇用・就労】 地元の若者やAターン希望者などの就業希望者に対する各種支援について	↙	1.99	2.11	▲ 0.12
2	2	【商工業】 魅力ある産業の創出や地場産業への支援及び企業誘致について	↙	1.52	1.62	▲ 0.10
3	3	【公共交通】 長寿社会に対応した公共交通の確保について	↙	1.44	1.51	▲ 0.07
4	4	【子育て】 安心して子育てできる社会環境の整備について	↙	1.33	1.41	▲ 0.08
5	5	【観光】 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	←	1.31	1.30	0.01
6	7	【空き家対策】 空き家の適正管理と利活用の推進について	↘	1.25	1.14	0.11
7	12	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化について	↑	1.19	1.03	0.16
8	6	【保健・医療】 健康増進にすすんで取り組める環境や医療体制について	↙	1.10	1.22	▲ 0.12
9	13	【行財政運営】 市の行財政運営の効率化等について	←	1.05	1.01	0.04
9	10	【移住・定住】 市の魅力発信等による、移住・定住の促進について	←	1.05	1.07	▲ 0.02
11	11	【農林水産業】 農畜水産物の消費拡大や生産基盤整備などの取り組み・支援について	←	1.04	1.06	▲ 0.02
12	8	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	↙	1.02	1.12	▲ 0.10
13	9	【出会い・結婚】 出会い・結婚の促進に向けた取り組みについて	↙	0.97	1.10	▲ 0.13
14	14	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度等の適正な実施について	←	0.95	0.97	▲ 0.02
14	15	【交通インフラ】 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	←	0.95	0.95	0.00
16	16	【市民協働】 市民と行政などが協働により推進する地域づくりについて	↘	0.83	0.72	0.11
17	18	【地域活性化】 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	↘	0.75	0.65	0.10
18	21	【学校教育】 学習意欲と能力を養う学校教育の充実について	↑	0.74	0.59	0.15
19	20	【地域情報化】 情報基盤の整備と地域の情報発信の推進について	←	0.65	0.63	0.02
20	17	【市街地】 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の整備について	↙	0.63	0.70	▲ 0.07
21	18	【上・下水道】 快適な暮らしの基盤となる上・下水道等の整備について	↙	0.59	0.65	▲ 0.06
22	22	【男女共同参画】 男女共同参画意識の醸成と女性の参画推進について	↘	0.58	0.52	0.06
23	23	【生涯学習】 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	←	0.54	0.50	0.04
24	23	【住環境】 市営住宅や宅地、公園、緑地の整備について	←	0.53	0.50	0.03
25	25	【地域間・国際交流】 地域間ネットワークの強化や国際化の推進について	←	0.46	0.45	0.01
25	27	【スポーツ】 スポーツ機会の充実やスポーツを通じた地域のにぎわい創出、交流人口の拡大について	↘	0.46	0.41	0.05
27	26	【芸術・文化】 芸術、文化活動、文化財に触れる機会の創出について	←	0.43	0.44	▲ 0.01
28	28	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくり	←	0.36	0.38	▲ 0.02
29	29	【花火産業構想】 さまざまな分野における大曲の花火ブランドの戦略的推進について	↙	0.01	0.11	▲ 0.10

※要望度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

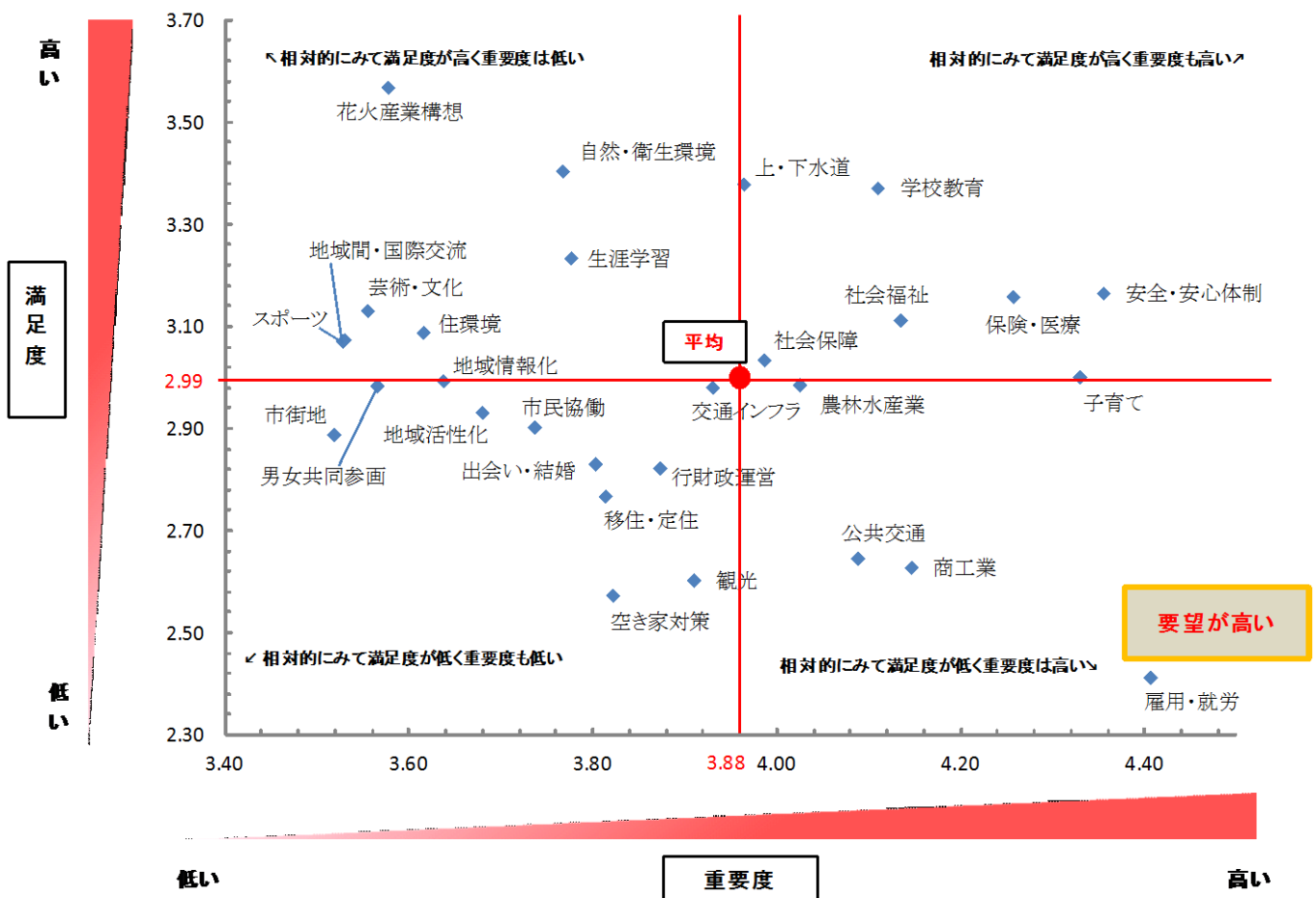
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望の高さを示した散布図を作成した。図表15は、29項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど重要度が高く満足度も高い項目となり、逆に図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目となっている。重要度が高く満足度が低い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望が高い施策となっている。

今回の満足度、要望度の結果から相対的に要望が高い施策は、「雇用・就労」、「商工業」、「公共交通」、「子育て」、「農林水産業」となっている。

図表 15 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

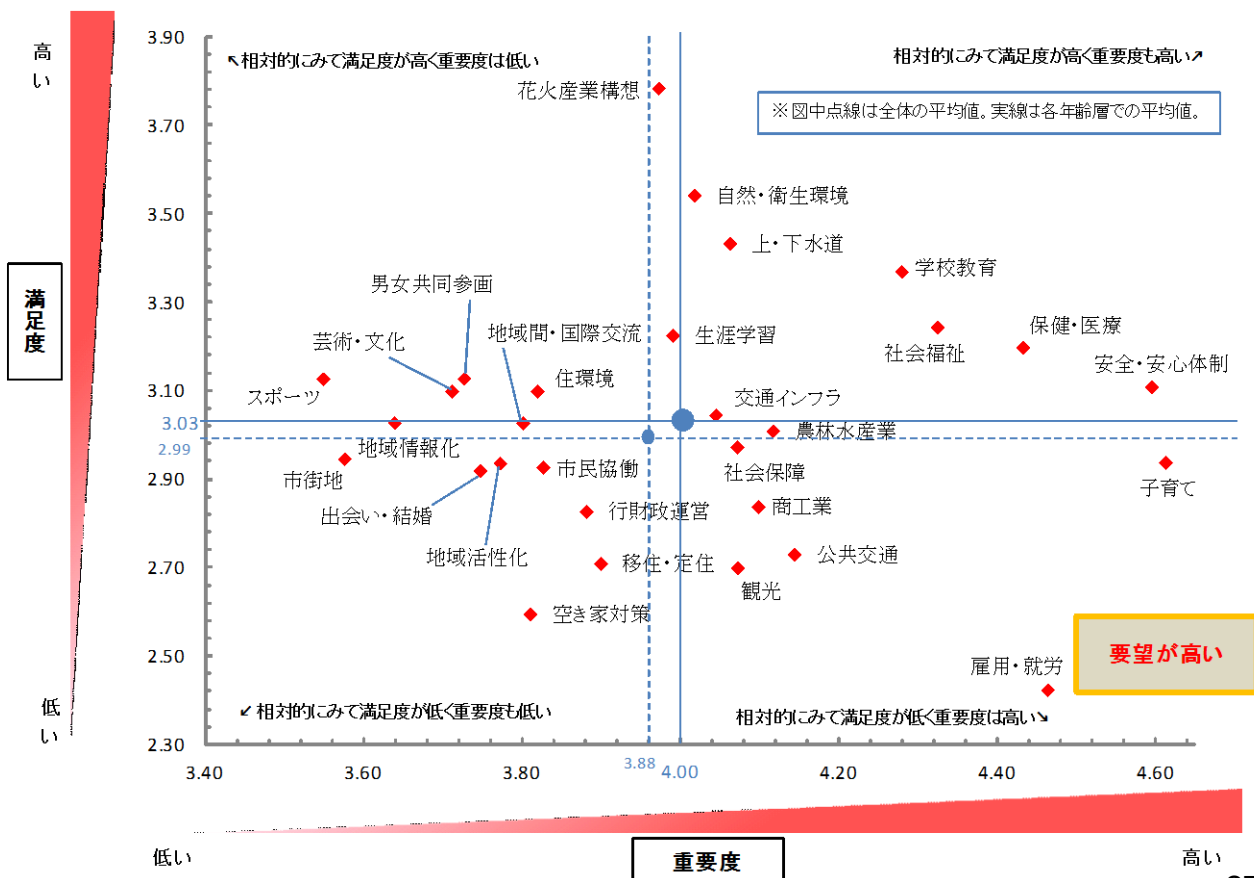
満足度を縦軸、重要度を横軸として各項目の要望の高さを示した散布図について、18歳から39歳(10代から30代)まで、40歳から64歳(40代から64歳)まで、65歳以上の3つの年齢層別で作成した。

18歳から39歳の年齢層では、全般的に重要度が高くなっており、散布図左上の「相対的にみて重要度が低く満足度が高い」にあたる位置に分布する項目が少ない。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「子育て」、「公共交通」で、特に、「子育て」は全項目の中で最も重要度が高く、満足度は他年齢層と比較すると低くなっており、この年齢層で特徴的に要望が高いことを示している。

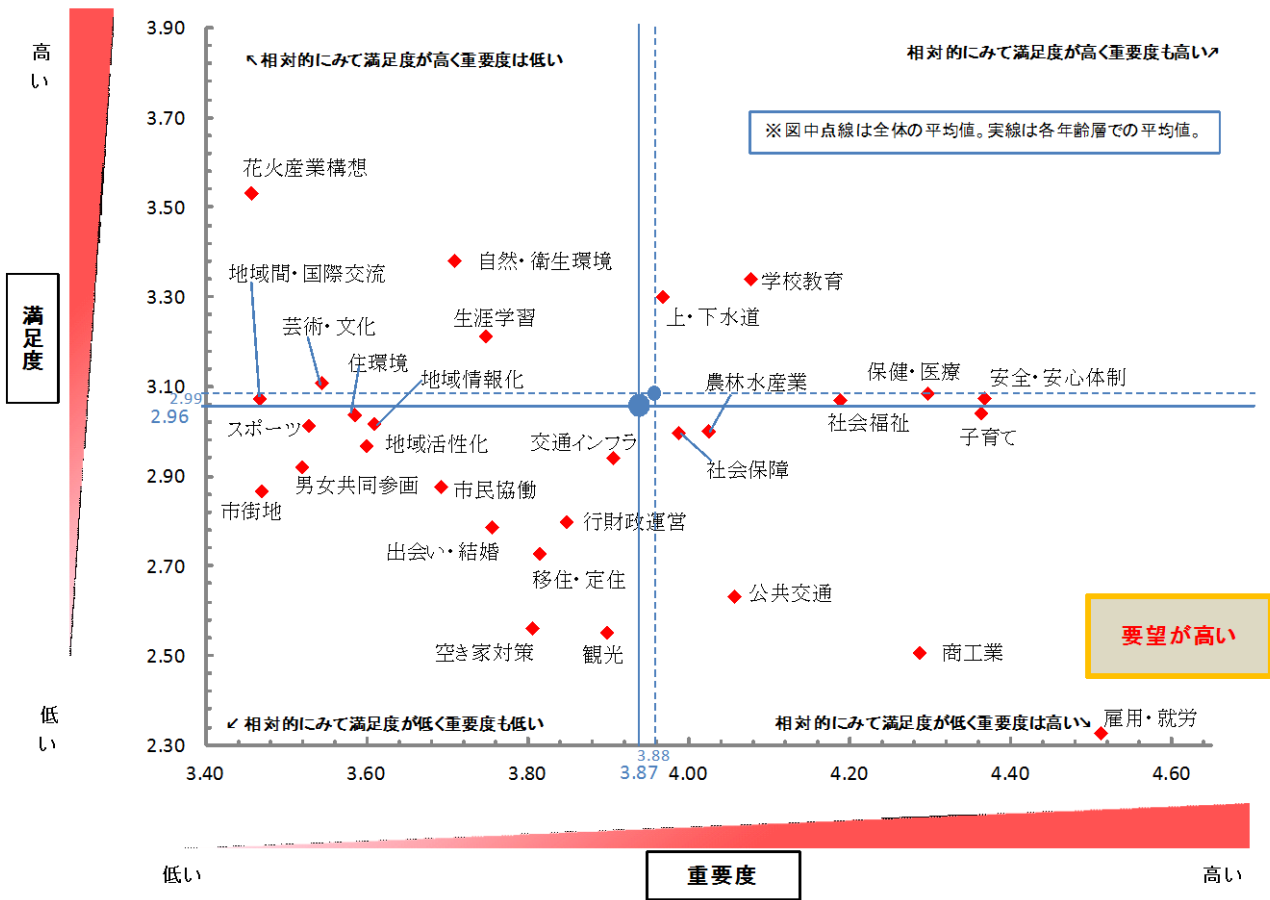
40歳から64歳の年齢層では、全般的に満足度が低くなっており、散布図左下の「相対的にみて満足度が低く重要度も低い」にあたる位置に分布する項目が多い。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「商工業」、「公共交通」、「子育て」で、特に、「商工業」は他年齢層と比較して重要度が高く満足度が低くなっており、この年齢層で特徴的に要望が高いことを示している。

65歳以上の年齢層では、全般的に重要度が低くなっており、満足度は高低のばらつきが少なくなっている。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「公共交通」、「商工業」だが、他の年齢層と比較して「出会い・結婚」、「空き家対策」の重要度の順位が高く、この年齢層では相対的に要望が高いことを示している。

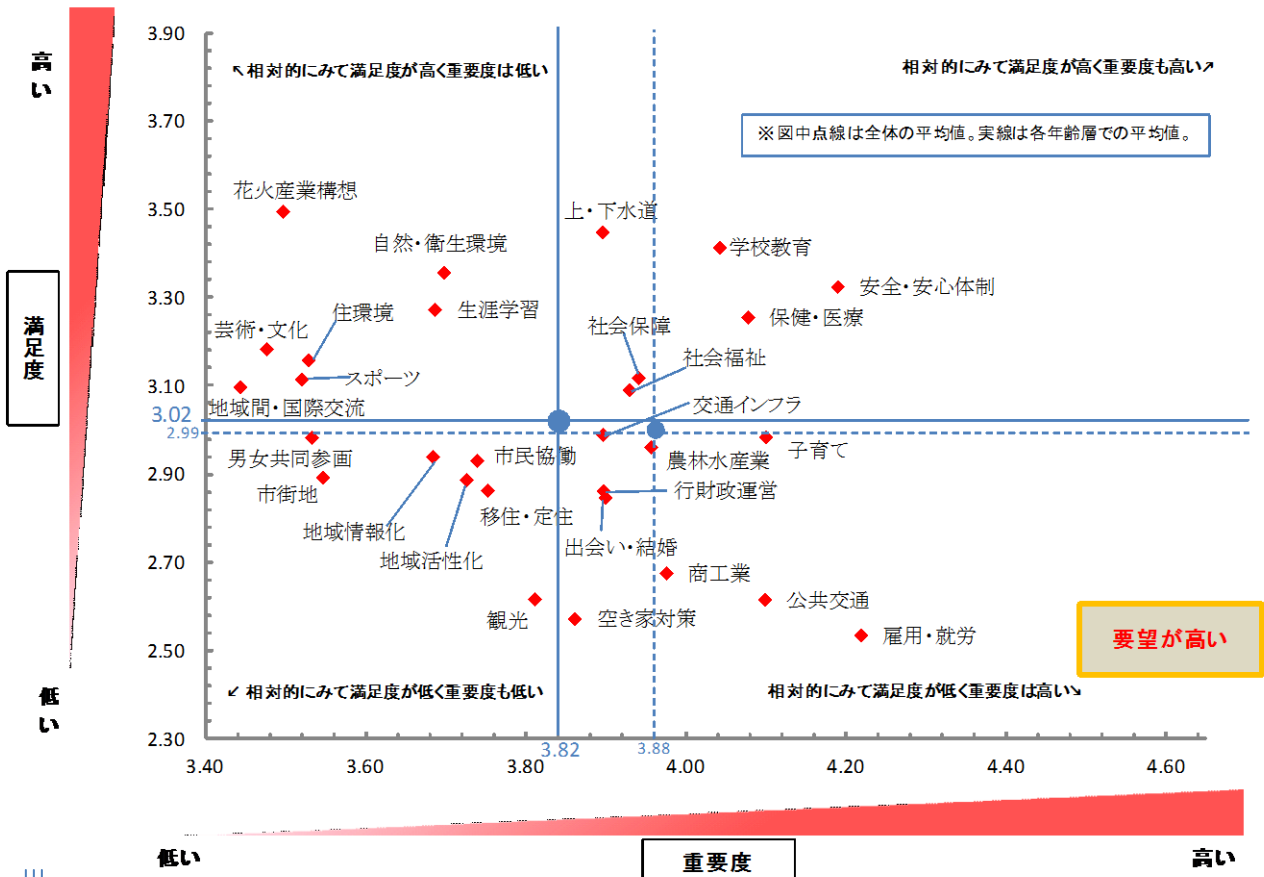
図表 16 満足度・重要度の項目別比較 (18歳から39歳)



図表 17 満足度・重要度の項目別比較（40歳から64歳）



図表 18 満足度・重要度の項目別比較（65歳以上）



2.5 さらに推進すべき取り組み

2.5.1 産業分野に関する設問について

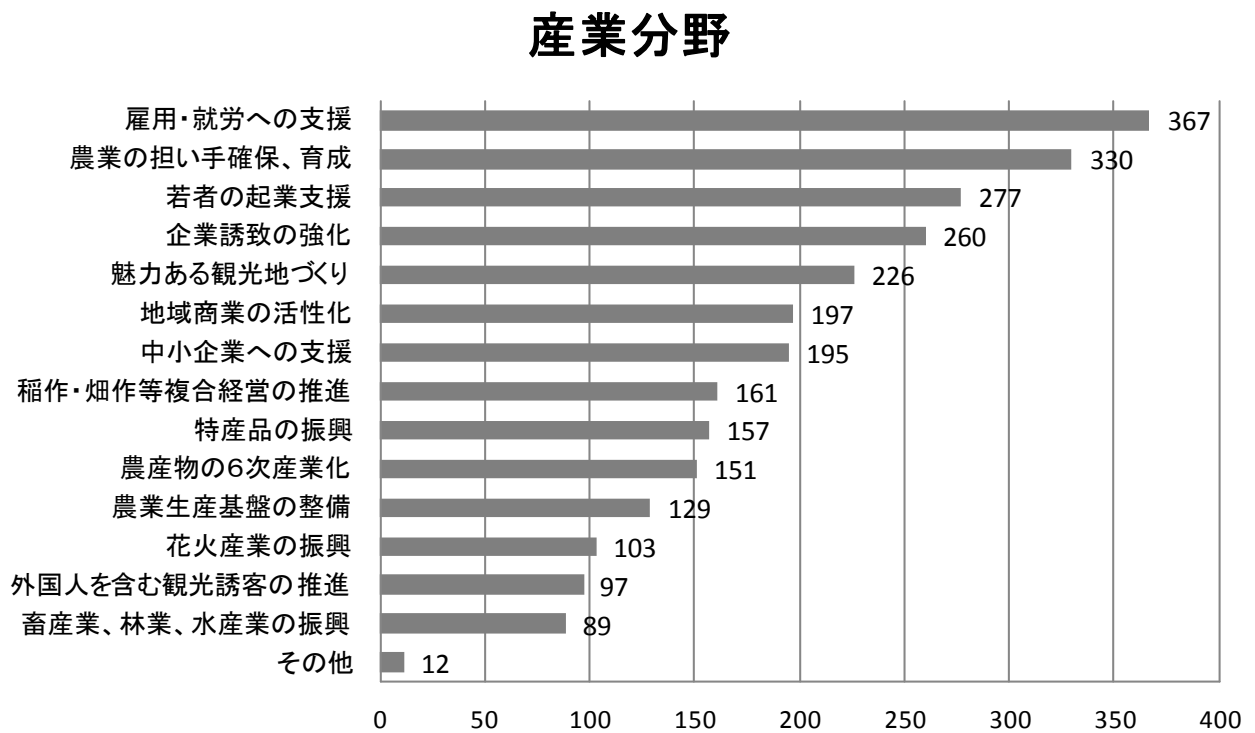
さらに推進すべき取り組みの上位は、「雇用・就労への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「若者の起業支援」となっている。

一方、下位は「畜産業、林業、水産業の振興」、「外国人を含む観光誘客の推進」、「花火産業の振興」となっている。

年代別では、10代から30代において「魅力ある観光地づくり」が、40代上において「企業誘致の強化」が他の年代に比べて高くなっている。

地域別では、上位の項目にほとんど差はないが、南外地域において「地域商業の活性化」「稲作・畑作等複合経営の推進」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

図表 19 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	3
2	雇用・就労への支援	2
	農業の担い手確保、育成	2
	魅力ある観光地づくり	2
	地域商業の活性化	2
	農産物の6次産業化	2
	花火産業の振興	2
	外国人を含む観光誘客の推進	2

■20代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用・就労への支援	27
2	魅力ある観光地づくり	27
4	若者の起業支援	21
5	中小企業への支援	20

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	40
2	農業の担い手確保、育成	37
3	魅力ある観光地づくり	28
4	若者の起業支援	27
5	地域商業の活性化	25
	中小企業への支援	25

■40代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	47
2	農業の担い手確保、育成	38
3	企業誘致の強化	35
4	若者の起業支援	33
5	魅力ある観光地づくり	29

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	91
2	企業誘致の強化	67
3	若者の起業支援	57
4	農業の担い手確保、育成	56
5	魅力ある観光地づくり	43

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	94
2	農業の担い手確保、育成	92
3	企業誘致の強化	73
4	若者の起業支援	67
5	地域商業の活性化	59

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	59
2	雇用・就労への支援	51
2	若者の起業支援	51
4	企業誘致の強化	38
5	地域商業の活性化	34

■80代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	18
2	農業の担い手確保、育成	16
3	雇用・就労への支援	14
4	企業誘致の強化	12
5	魅力ある観光地づくり	11

図表 21 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	158
2	農業の担い手確保、育成	135
3	若者の起業支援	121
4	魅力ある観光地づくり	118
5	企業誘致の強化	115

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	24
2	雇用・就労への支援	22
3	若者の起業支援	21
	企業誘致の強化	21
5	中小企業への支援	19

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	37
2	農業の担い手確保、育成	28
3	若者の起業支援	26
	企業誘致の強化	26
5	中小企業への支援	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	38
3	中小企業への支援	26
4	企業誘致の強化	24
5	若者の起業支援	23

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	37
3	若者の起業支援	32
4	企業誘致の強化	25
5	魅力ある観光地づくり	23

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	11
2	農業の担い手確保、育成	9
	企業誘致の強化	9
	若者の起業支援	8
4	地域商業の活性化	8
	稲作・畑作等複合経営の推進	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	28
2	雇用・就労への支援	26
3	若者の起業支援	20
4	企業誘致の強化	19
5	特産品の振興	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用・就労への支援	30
3	若者の起業支援	25
4	企業誘致の強化	21
5	魅力ある観光地づくり	19

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」、「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、「子育て支援サービスの充実」となっている。

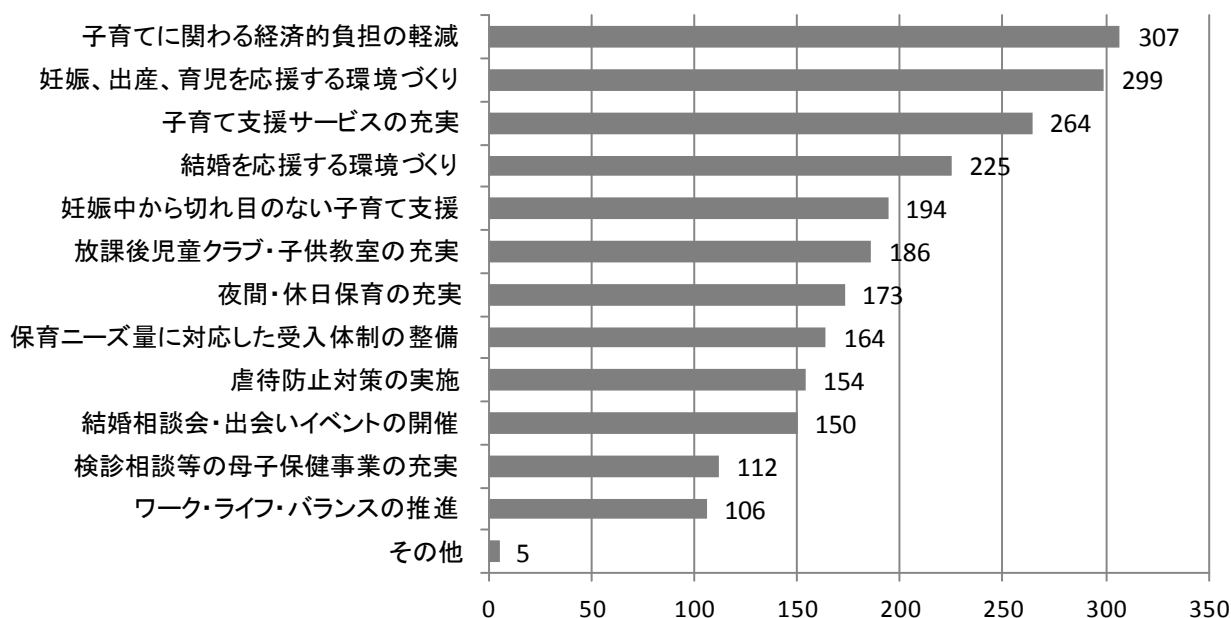
一方、下位は「ワーク・ライフ・バランスの推進」、「検診相談等の母子保健事業の充実」、「結婚相談会・出会いイベントの開催」となっている。

年代別では、20代から40代においては「夜間・休日保育の充実」、40代、50代においては「放課後児童クラブ・子供教室の充実」が他の年代に比べて高くなっている。60代以上では、50代まででは上位に入っていなかった、「結婚を応援する環境づくり」が1位となっている。

地域別では、西仙北、南外地域で「虐待防止対策の実施」が、中仙地域で「保育ニーズ量に対応した受入体制の整備」が他の地域より多くなっている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）

出会い・結婚・子育て分野



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	4
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり 虐待防止対策の実施	3
4	子育てに関わる経済的負担の軽減 妊娠中から切れ目のない子育て支援 放課後児童クラブ・子供教室の充実 ワーク・ライフ・バランスの推進	2

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	33
3	子育て支援サービスの充実	24
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	21
5	夜間・休日保育の充実	20

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
2	子育て支援サービスの充実	43
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	42
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	35
5	夜間・休日保育の充実	30

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	41
3	子育て支援サービスの充実	29
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実 夜間・休日保育の充実	25

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	63
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	58
3	子育て支援サービスの充実	50
4	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備	38
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	37

■60代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	70
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	68
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	66
4	子育て支援サービスの充実	65
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	48

■70代以上

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	48
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	42
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	41
4	子育て支援サービスの充実	39
5	虐待防止対策の実施	31

■80代以上

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	18
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり 結婚相談会・出会いイベントの開催	13
4	虐待防止対策の実施	12
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	11

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	139
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	137
3	子育て支援サービスの充実	121
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	94
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	88

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	19
	子育て支援サービスの充実	19
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	18
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	17

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
	子育て支援サービスの充実	25
4	結婚を応援する環境づくり	22
5	虐待防止対策の実施	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
2	結婚を応援する環境づくり	29
3	子育て支援サービスの充実	26
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
5	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備	20

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	36
2	子育て支援サービスの充実	28
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	27
4	結婚を応援する環境づくり	24
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	21

■南外地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	10
	結婚を応援する環境づくり	10
3	子育て支援サービスの充実	9
4	夜間・休日保育の充実	8
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	7
	虐待防止対策の実施	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	19
3	結婚を応援する環境づくり	18
4	子育て支援サービスの充実	16
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
3	結婚を応援する環境づくり	23
4	子育て支援サービスの充実	19
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	18

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

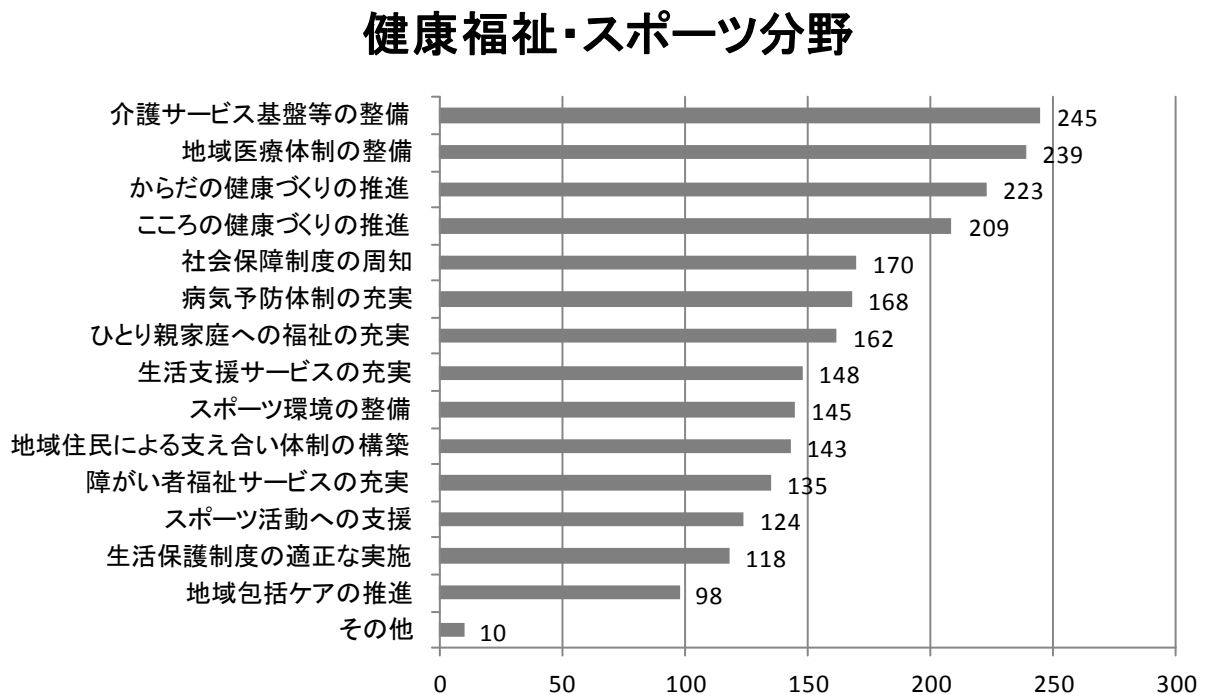
さらに推進すべき取り組みの上位は、「介護サービス基盤等の整備」、「地域医療体制の整備」、「からだの健康づくりの推進」となっている。

一方、下位については「地域包括ケアの推進」、「生活保護制度の適正な実施」、「スポーツ活動への支援」となっている。

年代別では、10代から40代において「スポーツ環境の整備」、「スポーツ活動への支援」が、他の年代に比べて高くなっている。

地域別では、大曲以外の地域で「地域医療体制の整備」の割合が高く、中仙、太田地域で「地域住民による支え合い体制の構築」が他の地域より高くなっている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	スポーツ環境の整備	4
2	からだの健康づくりの推進	3
	こころの健康づくりの推進	3
5	スポーツ活動への支援	3
	地域医療体制の整備	2
	病気予防体制の充実	2
	地域住民による支え合い体制の構築	2

■20代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	24
2	病気予防体制の充実	22
3	スポーツ活動への支援	19
4	介護サービス基盤等の整備	17
	スポーツ環境の整備	17

■30代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	27
2	地域医療体制の整備	25
3	からだの健康づくりの推進	24
4	こころの健康づくりの推進	19
5	社会保障制度の周知	18
	ひとり親家庭への福祉の充実	18
	スポーツ環境の整備	18
	スポーツ活動への支援	18

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	31
2	介護サービス基盤等の整備	28
3	こころの健康づくりの推進	26
4	スポーツ環境の整備	25
5	からだの健康づくりの推進	24

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	58
2	介護サービス基盤等の整備	55
3	からだの健康づくりの推進	40
	こころの健康づくりの推進	40
	社会保障制度の周知	40

■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	58
2	介護サービス基盤等の整備	56
3	からだの健康づくりの推進	54
4	こころの健康づくりの推進	47
5	ひとり親家庭への福祉の充実	45
	地域住民による支え合い体制の構築	45

■70代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	46
2	からだの健康づくりの推進	43
3	こころの健康づくりの推進	41
4	地域医療体制の整備	37
5	生活支援サービスの充実	32

■80代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	17
2	介護サービス基盤等の整備	15
3	地域医療体制の整備	13
4	からだの健康づくりの推進	10
	ひとり親家庭への福祉の充実	10
	地域住民による支え合い体制の構築	10

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	106
2	からだの健康づくりの推進	104
3	こころの健康づくりの推進	93
4	地域医療体制の整備	92
5	病気予防体制の充実	82

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	16
	こころの健康づくりの推進	16
3	からだの健康づくりの推進	14
	社会保障制度の周知	14
5	病気予防体制の充実	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	24
2	介護サービス基盤等の整備	23
3	生活支援サービスの充実	21
4	からだの健康づくりの推進	20
5	社会保障制度の周知	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	29
2	介護サービス基盤等の整備	26
3	こころの健康づくりの推進	25
4	からだの健康づくりの推進	22
5	地域住民による支え合い体制の構築	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	28
2	地域医療体制の整備	27
3	こころの健康づくりの推進	24
4	社会保障制度の周知	23
5	ひとり親家庭への福祉の充実	21

■南外地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	9
	地域医療体制の整備	9
	こころの健康づくりの推進	9
4	からだの健康づくりの推進	8
	社会保障制度の周知	8
	病気予防体制の充実	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	21
2	地域医療体制の整備	20
3	からだの健康づくりの推進	16
4	こころの健康づくりの推進	13
5	病気予防体制の充実	12
	ひとり親家庭への福祉の充実	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	21
2	介護サービス基盤等の整備	19
	からだの健康づくりの推進	19
4	ひとり親家庭への福祉の充実	15
	地域住民による支え合い体制の構築	15

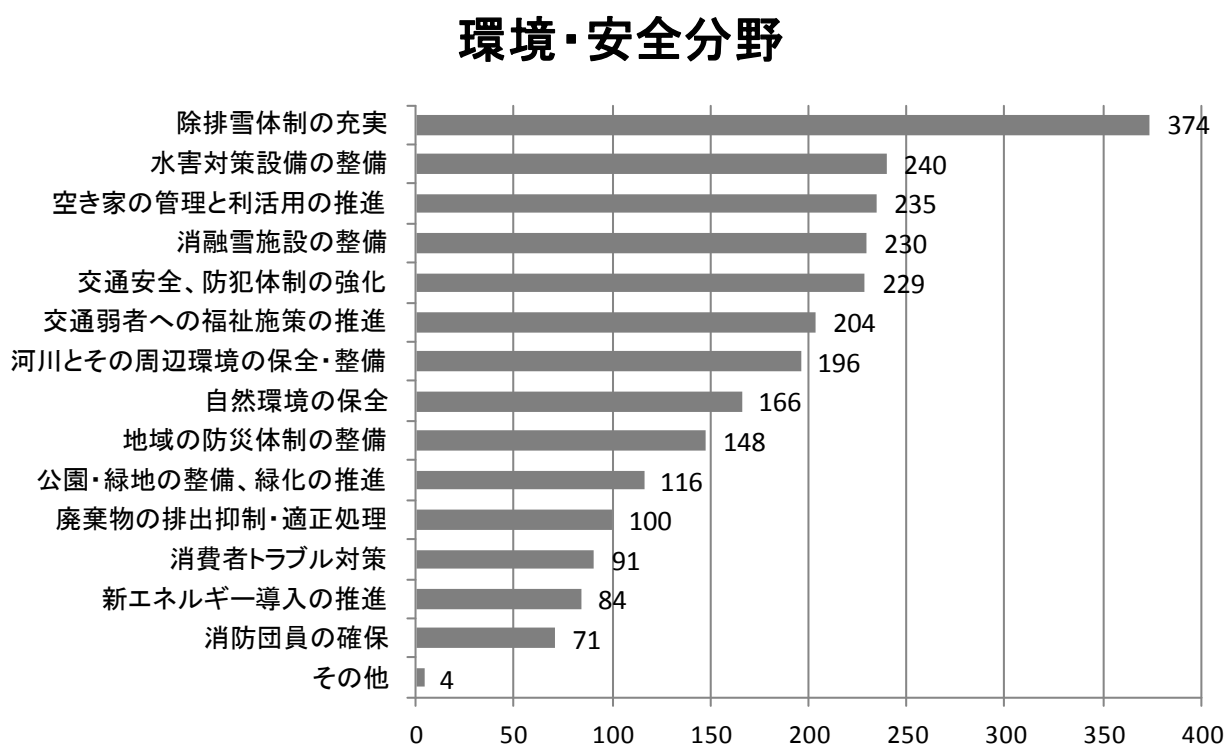
2.5.4 環境安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」、「水害対策設備の整備」、「空き家の管理と利活用の推進」となっている。

一方、下位は「消防団員の確保」、「新エネルギー導入の推進」、「消費者トラブル対策」となっている。

年代別ではすべての年代で、地域別では、太田を除くすべての地域で「除排雪体制の充実」が最も高くなっている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	4
2	交通安全、防犯体制の強化	3
	河川とその周辺環境の保全・整備	3
4	消融雪施設の整備	2
	自然環境の保全	2
	公園・緑地の整備、緑化の推進	2

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	32
2	消融雪施設の整備	27
3	水害対策設備の整備	23
	河川とその周辺環境の保全・整備	23
5	交通安全、防犯体制の強化	18
	自然環境の保全	18

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	47
2	水害対策設備の整備	31
	消融雪施設の整備	31
4	交通安全、防犯体制の強化	29
5	空き家の管理と利活用の推進	27
	河川とその周辺環境の保全・整備	27

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	50
2	水害対策設備の整備	41
3	消融雪施設の整備	34
4	空き家の管理と利活用の推進	30
5	河川とその周辺環境の保全・整備	24

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	83
2	消融雪施設の整備	52
3	空き家の管理と利活用の推進	50
4	水害対策設備の整備	47
5	交通弱者への福祉施策の推進	42

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	83
2	空き家の管理と利活用の推進	63
3	交通安全、防犯体制の強化	60
4	水害対策設備の整備	55
	交通弱者への福祉施策の推進	55

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	52
2	交通安全、防犯体制の強化	45
3	交通弱者への福祉施策の推進	41
4	空き家の管理と利活用の推進	36
5	自然環境の保全	33

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
2	交通安全、防犯体制の強化	18
3	地域の防災体制の整備	13
4	空き家の管理と利活用の推進	12
	消融雪施設の整備	12

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	174
2	消融雪施設の整備	125
3	水害対策設備の整備	107
4	空き家の管理と利活用の推進	95
5	交通安全、防犯体制の強化	92

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	水害対策設備の整備	24
3	空き家の管理と利活用の推進 河川とその周辺環境の保全・整備	16
5	交通安全、防犯体制の強化 自然環境の保全	15

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	空き家の管理と利活用の推進	28
3	交通安全、防犯体制の強化	25
4	河川とその周辺環境の保全・整備	24
5	水害対策設備の整備	23

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	37
2	交通安全、防犯体制の強化	26
3	空き家の管理と利活用の推進	23
4	水害対策設備の整備 交通弱者への福祉施策の推進	21

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	37
2	交通弱者への福祉施策の推進	24
3	水害対策設備の整備	23
4	交通安全、防犯体制の強化 河川とその周辺環境の保全・整備	22

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	13
2	水害対策設備の整備 空き家の管理と利活用の推進	10
4	交通安全、防犯体制の強化	9
5	交通弱者への福祉施策の推進 河川とその周辺環境の保全・整備	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	29
2	交通安全、防犯体制の強化	19
3	水害対策設備の整備	18
3	空き家の管理と利活用の推進	18
5	消融雪施設の整備	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	空き家の管理と利活用の推進	27
2	除排雪体制の充実	26
3	交通安全、防犯体制の強化	20
4	交通弱者への福祉施策の推進	18
5	水害対策設備の整備 自然環境の保全 廃棄物の排出抑制・適正処理	13

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

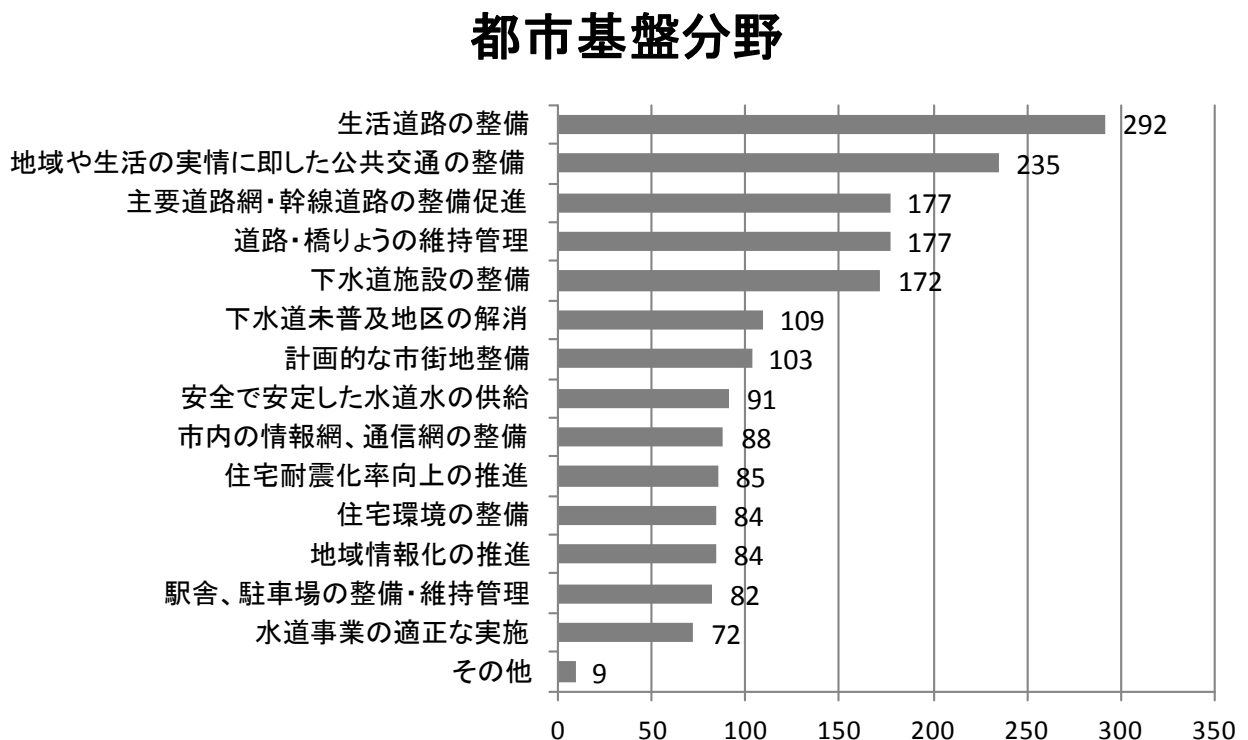
さらに推進すべき取り組みの上位は「生活道路の整備」、「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」、「主要道路網・幹線道路の整備促進」、「道路・橋りょうの維持管理」となっている。

一方、下位については、「水道事業の適正な実施」、「駅舎・駐車場の整備・維持管理」、「地域情報化の推進」、「住宅環境の整備」となっている。

年代別では、20代以上のすべての年代で「生活道路の整備」が最も高い。

地域別では、西仙北地域以外では、「生活道路の整備」が最も高く、次に「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」となっている。西仙北地域では、「道路・橋りょうの維持管理」の回答の割合が他の地域と比べて高くなっている。

図表 31 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	駅舎、駐車場の整備・維持管理	3
2	生活道路の整備	2
	主要道路網・幹線道路の整備促進	2
	道路・橋りよの維持管理	2
	計画的な市街地整備	2

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	28
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	19
	道路・橋りよの維持管理	19
4	下水道施設の整備	16
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	15

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	29
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	28
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	22
	道路・橋りよの維持管理	22
5	下水道施設の整備	21

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	34
2	道路・橋りよの維持管理	25
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
	主要道路網・幹線道路の整備促進	23
5	下水道施設の整備	21

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	59
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	53
3	道路・橋りよの維持管理	42
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	32
5	下水道施設の整備	28

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	75
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	64
3	下水道施設の整備	46
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	40
5	道路・橋りよの維持管理	36

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	44
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	38
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	32
4	下水道施設の整備	29
5	道路・橋りよの維持管理	25

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	19
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12
3	下水道施設の整備	10
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	7
	下水道未普及地区の解消	7
	市内の情報網、通信網の整備	7
	住宅環境の整備	7

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	118
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	102
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	76
	下水道施設の整備	76
5	道路・橋りょうの維持管理	68

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	19
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	17
3	道路・橋りょうの維持管理	13
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	11
	下水道施設の整備	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	31
2	道路・橋りょうの維持管理	23
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	19
	主要道路網・幹線道路の整備促進	19
5	下水道施設の整備	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	36
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	20
	道路・橋りょうの維持管理	20
5	下水道施設の整備	14

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
3	下水道施設の整備	21
4	道路・橋りょうの維持管理	20
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	16

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	9
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	8
	道路・橋りょうの維持管理	8
4	下水道施設の整備	7
5	住宅環境の整備	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	23
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
	下水道施設の整備	16
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	15
5	計画的な市街地整備	9
	住宅耐震化率向上の推進	9

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	24
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	20
3	道路・橋りょうの維持管理	17
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	16
5	下水道施設の整備	12

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

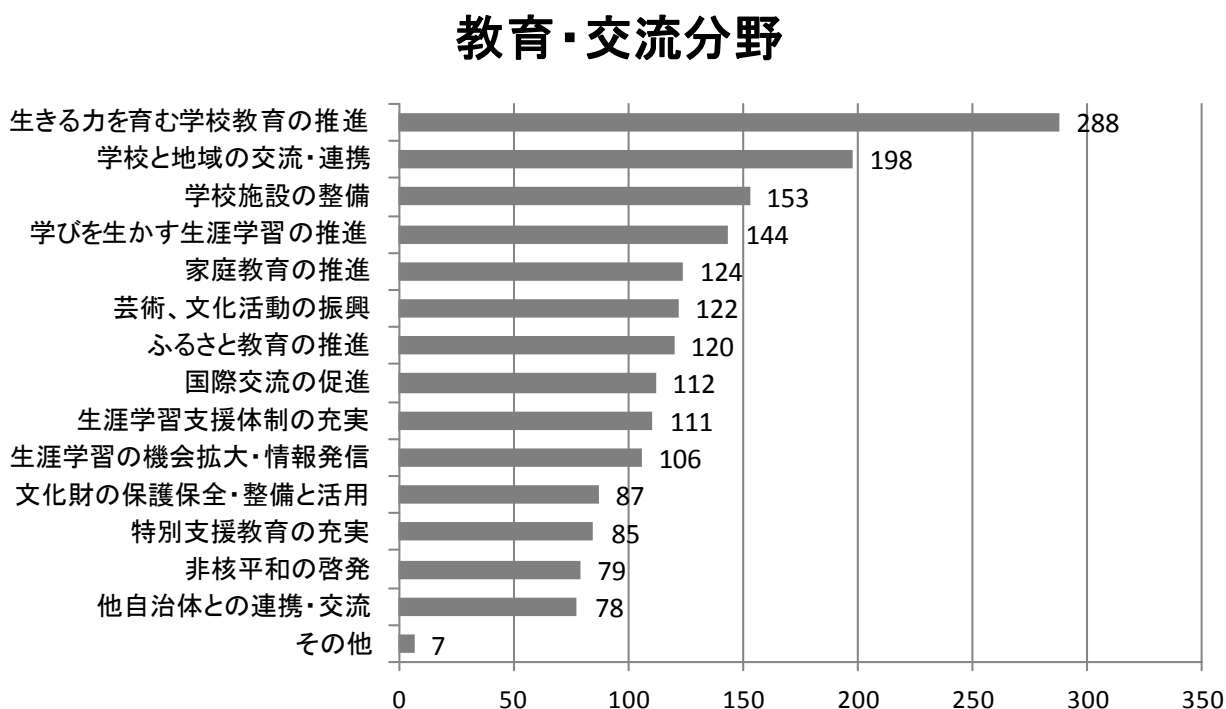
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」、「学校と地域の交流・連携」、「学校施設の整備」となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」、「非核平和の啓発」、「特別支援教育の充実」となっている。

年代別では、20代以上で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も高くなっている。20代から50代で「学校施設の整備」が他の年代と比べて高くなっている。70代、80代では「ふるさと教育の推進」が他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、いずれの地域でも「生きる力を育む学校教育の推進」が最も高くなっている。

図表 34 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	国際交流の促進	4
2	生きる力を育む学校教育の推進	2
	学校と地域の交流・連携	2
	学びを生かす生涯学習の推進	2
	その他	2

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	18
3	学校施設の整備	17
4	学びを生かす生涯学習の推進	16
5	生涯学習支援体制の充実	15

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	29
2	学校施設の整備	25
3	学校と地域の交流・連携	24
4	学びを生かす生涯学習の推進	17
5	芸術、文化活動の振興	16

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	44
2	学校施設の整備	29
3	学校と地域の交流・連携	26
4	学びを生かす生涯学習の推進	18
5	家庭教育の推進	14
	国際交流の促進	14
	特別支援教育の充実	14

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	55
2	学校と地域の交流・連携	36
3	学校施設の整備	32
4	学びを生かす生涯学習の推進	30
5	生涯学習支援体制の充実	26

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	76
2	学校と地域の交流・連携	48
3	学びを生かす生涯学習の推進	32
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	31
5	家庭教育の推進	30

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	46
2	学校と地域の交流・連携	32
3	家庭教育の推進	24
4	ふるさと教育の推進	22
5	学びを生かす生涯学習の推進	21
	芸術、文化活動の振興	21
	生涯学習支援体制の充実	21

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	13
2	学校と地域の交流・連携	12
3	家庭教育の推進	11
	ふるさと教育の推進	11
5	芸術、文化活動の振興	9

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	122
2	学校と地域の交流・連携	86
3	学校施設の整備	75
4	学びを生かす生涯学習の推進	63
5	芸術、文化活動の振興	60

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	14
3	ふるさと教育の推進	12
4	芸術、文化活動の振興	9
	生涯学習支援体制の充実	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校と地域の交流・連携	19
3	学びを生かす生涯学習の推進	15
4	家庭教育の推進	12
5	学校施設の整備	11
	国際交流の促進	11
	生涯学習支援体制の充実	11

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	26
2	学校と地域の交流・連携	25
3	学校施設の整備	21
4	家庭教育の推進	14
	生涯学習支援体制の充実	14

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	26
2	学校と地域の交流・連携	19
3	芸術、文化活動の振興	14
4	学びを生かす生涯学習の推進	13
	非核平和の啓発	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	10
2	ふるさと教育の推進	9
3	学校と地域の交流・連携	7
	学びを生かす生涯学習の推進	7
5	学校施設の整備	5
	家庭教育の推進	5
	芸術、文化活動の振興	5
	国際交流の促進	5
	非核平和の啓発	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	30
2	学校施設の整備	14
	学びを生かす生涯学習の推進	14
4	ふるさと教育の推進	13
5	学校と地域の交流・連携	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	24
2	学校と地域の交流・連携	16
3	学びを生かす生涯学習の推進	13
	国際交流の促進	13
5	ふるさと教育の推進	12

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

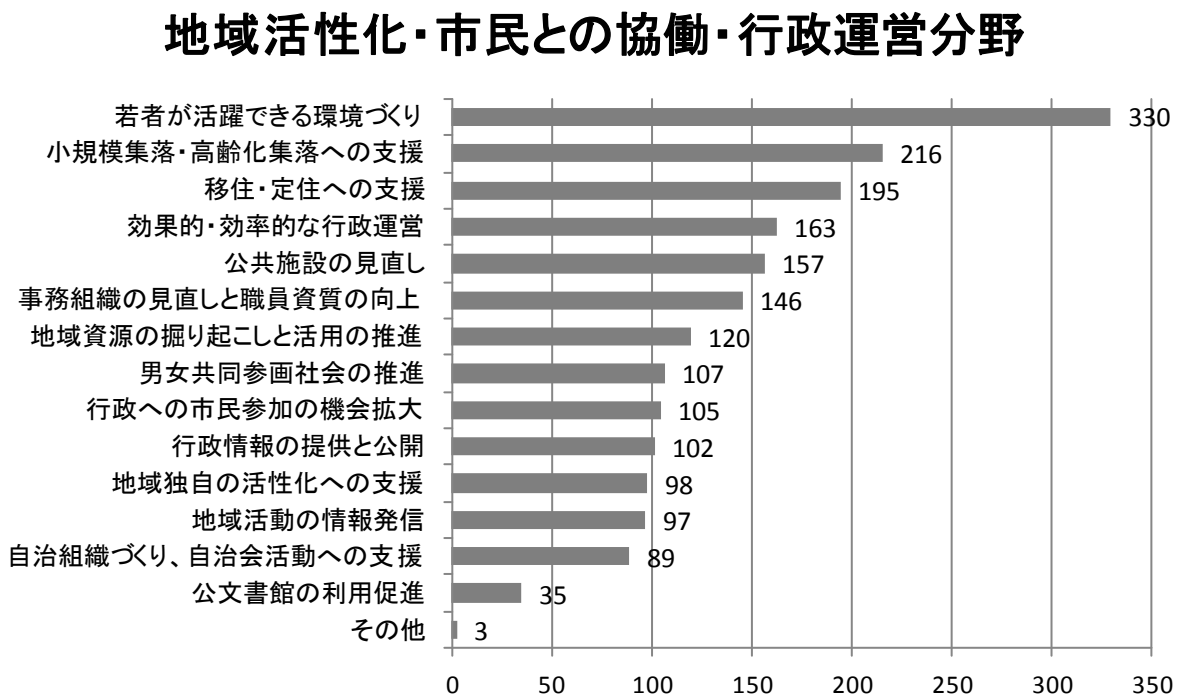
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」、「小規模集落・高齢化集落への支援」、「移住・定住への支援」となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」、「自治組織づくり、自治会活動への支援」、「地域活動の情報発信」となっている。

年代別では、10代から70代までの世代で「若者が活躍できる環境づくり」が、80代では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も高くなっている。

地域別では、「若者が活躍できる環境づくり」がいずれの地域でも最も高くなっている。大曲地域では、「移住・定住への支援」が他の地域と比べて高くなっている。

図表 37 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	3
2	移住・定住への支援	2
	効果的・効率的な行政運営	2
	公共施設の見直し	2
	男女共同参画社会の推進	2
	行政への市民参加の機会拡大	2
	地域活動の情報発信	2

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	小規模集落・高齢化集落への支援	26
3	移住・定住への支援	18
	効果的・効率的な行政運営	18
	男女共同参画社会の推進	18

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	36
2	移住・定住への支援	26
3	公共施設の見直し	21
4	効果的・効率的な行政運営	19
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	18

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	45
2	移住・定住への支援	27
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	24
4	公共施設の見直し	23
5	効果的・効率的な行政運営	22

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	74
2	公共施設の見直し	43
3	小規模集落・高齢化集落への支援	37
	移住・定住への支援	37
5	効果的・効率的な行政運営	36

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	78
2	小規模集落・高齢化集落への支援	60
3	移住・定住への支援	49
4	効果的・効率的な行政運営	42
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	39

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	47
2	小規模集落・高齢化集落への支援	40
3	移住・定住への支援	26
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	25
5	行政への市民参加の機会拡大	22
	行政情報の提供と公開	22

■80代

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	18
2	若者が活躍できる環境づくり	15
3	行政情報の提供と公開	11
4	移住・定住への支援	9
	事務組織の見直しと職員資質の向上	9
	行政への市民参加の機会拡大	9
	地域独自の活性化への支援	9

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	150
2	移住・定住への支援	96
3	小規模集落・高齢化集落への支援	83
4	効果的・効率的な行政運営	74
5	公共施設の見直し	69

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	12
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進 地域活動の情報発信	11
5	移住・定住への支援 行政情報の提供と公開	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	29
2	小規模集落・高齢化集落への支援	23
3	公共施設の見直し	15
4	効果的・効率的な行政運営	14
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	13

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	35
2	小規模集落・高齢化集落への支援	26
3	移住・定住への支援	20
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	18
5	効果的・効率的な行政運営	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	小規模集落・高齢化集落への支援	26
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	16
4	公共施設の見直し	15
5	移住・定住への支援 効果的・効率的な行政運営	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	13
2	公共施設の見直し	10
3	小規模集落・高齢化集落への支援	8
4	効果的・効率的な行政運営	7
5	移住・定住への支援	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	25
2	移住・定住への支援	20
3	小規模集落・高齢化集落への支援	19
4	効果的・効率的な行政運営	15
5	公共施設の見直し	13

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	29
2	小規模集落・高齢化集落への支援	18
3	移住・定住への支援	17
4	効果的・効率的な行政運営	16
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	15

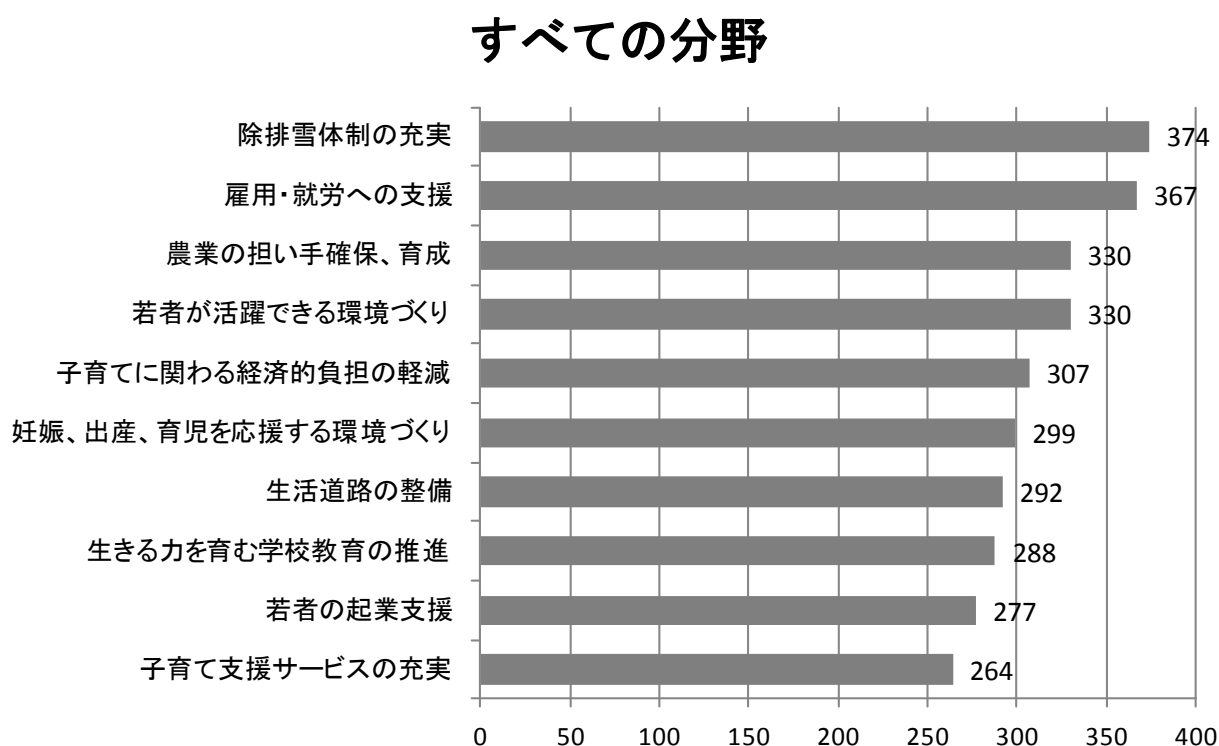
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずにすべての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「除排雪体制の充実」、「雇用・就労への支援」、「農業の担い手確保、育成」、「若者が活躍できる環境づくり」、「子育てに関わる経済的負担の軽減」の順となっている。

年代別では、20代と30代で子育てに関わる項目が高くなっており、40代から60代で他の年代よりも「雇用・就労への支援」が高くなっている。「除排雪体制の充実」は、どの年代でも最も高いか、二番目に高い。70代、80代では「若者の起業支援」が他の年代より高くなっている。

地域別では、仙北地域で「生きる力を育む学校教育の推進」が他の地域より高く、神岡、中仙、協和、太田地域で「農業の担い手確保、育成」が他の地域より高くなっている。

図表 40 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	4
	スポーツ環境の整備	4
	除排雪体制の充実	4
	国際交流の促進	4
5	若者の起業支援	3
	虐待防止対策の実施	3
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	3
	からだの健康づくりの推進	3
	こころの健康づくりの推進	3
	スポーツ活動への支援	3
	河川とその周辺環境の保全・整備	3
	交通安全、防犯体制の強化	3
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	3
	若者が活躍できる環境づくり	3

■20代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	33
	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
3	除排雪体制の充実	32
4	若者が活躍できる環境づくり	30
5	農業の担い手確保、育成	29
6	生活道路の整備	28
7	魅力ある観光地づくり	27
	雇用・就労への支援	27
10	消融雪施設の整備	27
	小規模集落・高齢化集落への支援	26

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	47
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
3	子育て支援サービスの充実	43
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	42
5	雇用・就労への支援	40
6	農業の担い手確保、育成	37
7	若者が活躍できる環境づくり	36
8	妊娠中から切れ目のない子育て支援	35
9	消融雪施設の整備	31
10	水害対策設備の整備	31

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	50
2	雇用・就労への支援	47
3	若者が活躍できる環境づくり	45
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
	生きる力を育む学校教育の推進	44
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	41
	水害対策設備の整備	41
8	農業の担い手確保、育成	38
9	企業誘致の強化	35
10	消融雪施設の整備	34
	生活道路の整備	34

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	91
2	除排雪体制の充実	83
3	若者が活躍できる環境づくり	74
4	企業誘致の強化	67
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	63
6	生活道路の整備	59
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	58
	地域医療体制の整備	58
9	若者の起業支援	57
10	農業の担い手確保、育成	56

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	94
2	農業の担い手確保、育成	92
3	除排雪体制の充実	83
4	若者が活躍できる環境づくり	78
5	生きる力を育む学校教育の推進	76
6	生活道路の整備	75
7	企業誘致の強化	73
8	結婚を応援する環境づくり	70
9	子育てに関わる経済的負担の軽減	68
10	若者の起業支援	67

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	59
2	除排雪体制の充実	52
3	雇用・就労への支援	51
	若者の起業支援	51
5	結婚を応援する環境づくり	48
6	若者が活躍できる環境づくり	47
7	介護サービス基盤等の整備	46
	生きる力を育む学校教育の推進	46
9	交通安全、防犯体制の強化	45
10	生活道路の整備	44

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
2	生活道路の整備	19
3	若者の起業支援	18
	結婚を応援する環境づくり	18
	交通安全、防犯体制の強化	18
	小規模集落・高齢化集落への支援	18
7	こころの健康づくりの推進	17
8	農業の担い手確保、育成	16
9	介護サービス基盤等の整備	15
	若者が活躍できる環境づくり	15

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	174
2	雇用・就労への支援	158
3	若者が活躍できる環境づくり	150
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	139
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	137
6	農業の担い手確保、育成	135
7	消融雪施設の整備	125
8	生きる力を育む学校教育の推進	122
9	若者の起業支援	121
	子育て支援サービスの充実	121

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	農業の担い手確保、育成	24
	水害対策設備の整備	24
4	雇用・就労への支援	22
	生きる力を育む学校教育の推進	22
	若者の起業支援	21
6	企業誘致の強化	21
	若者が活躍できる環境づくり	21
9	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
	中小企業への支援	19
10	子育てに関わる経済的負担の軽減	19
	子育て支援サービスの充実	19
	生活道路の整備	19

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	37
2	除排雪体制の充実	31
	生活道路の整備	31
4	若者が活躍できる環境づくり	29
	農業の担い手確保、育成	28
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
	空き家の管理と利活用の推進	28
	生きる力を育む学校教育の推進	28
9	若者の起業支援	26
	企業誘致の強化	26

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	38
3	除排雪体制の充実	37
4	生活道路の整備	36
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
	若者が活躍できる環境づくり	35
	結婚を応援する環境づくり	29
7	地域医療体制の整備	29
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
	中小企業への支援	26
	子育て支援サービスの充実	26
10	介護サービス基盤等の整備	26
	交通安全、防犯体制の強化	26
	生きる力を育む学校教育の推進	26

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	37
	除排雪体制の充実	37
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	36
	若者の起業支援	32
5	生活道路の整備	32
6	子育て支援サービスの充実	28
	介護サービス基盤等の整備	28
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	27
8	地域医療体制の整備	27
	若者が活躍できる環境づくり	27

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	13
	若者が活躍できる環境づくり	13
3	雇用・就労への支援	11
	子育てに関わる経済的負担の軽減	10
	結婚を応援する環境づくり	10
4	水害対策設備の整備	10
	空き家の管理と利活用の推進	10
	生きる力を育む学校教育の推進	10
	公共施設の見直し	10
	農業の担い手確保、育成	9
	企業誘致の強化	9
	子育て支援サービスの充実	9
10	介護サービス基盤等の整備	9
	地域医療体制の整備	9
	こころの健康づくりの推進	9
	交通安全、防犯体制の強化	9
	生活道路の整備	9
	ふるさと教育の推進	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	30
2	除排雪体制の充実	29
3	農業の担い手確保、育成	28
4	雇用・就労への支援	26
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
	若者が活躍できる環境づくり	25
7	生活道路の整備	23
8	介護サービス基盤等の整備	21
	若者の起業支援	20
9	地域医療体制の整備	20
	移住・定住への支援	20

■太田地域

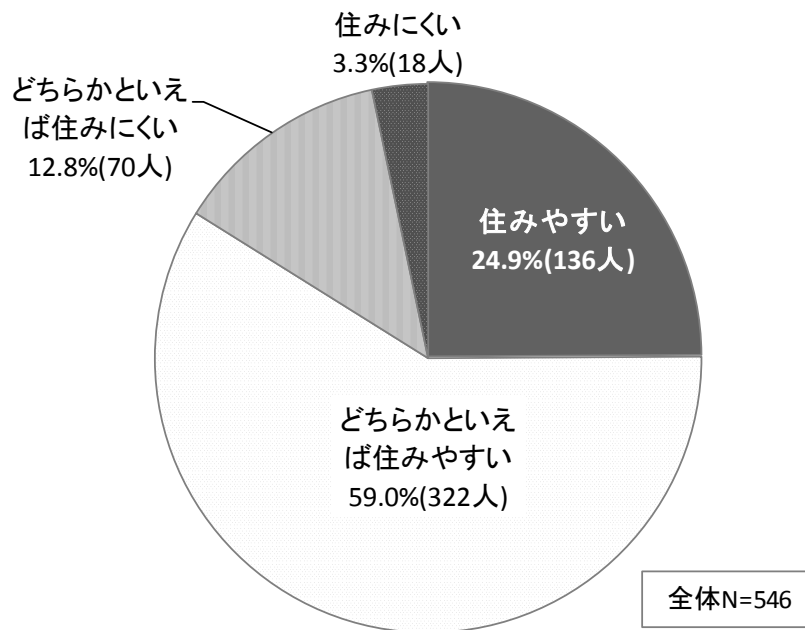
順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用・就労への支援	30
3	若者が活躍できる環境づくり	29
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
	空き家の管理と利活用の推進	27
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
	除排雪体制の充実	26
8	若者の起業支援	25
9	生活道路の整備	24
	生きる力を育む学校教育の推進	24

2.6 大仙市の住みやすさについて

2.6.1 「大仙市は住みやすいか」について

「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合を合わせると、8割以上を占めている。

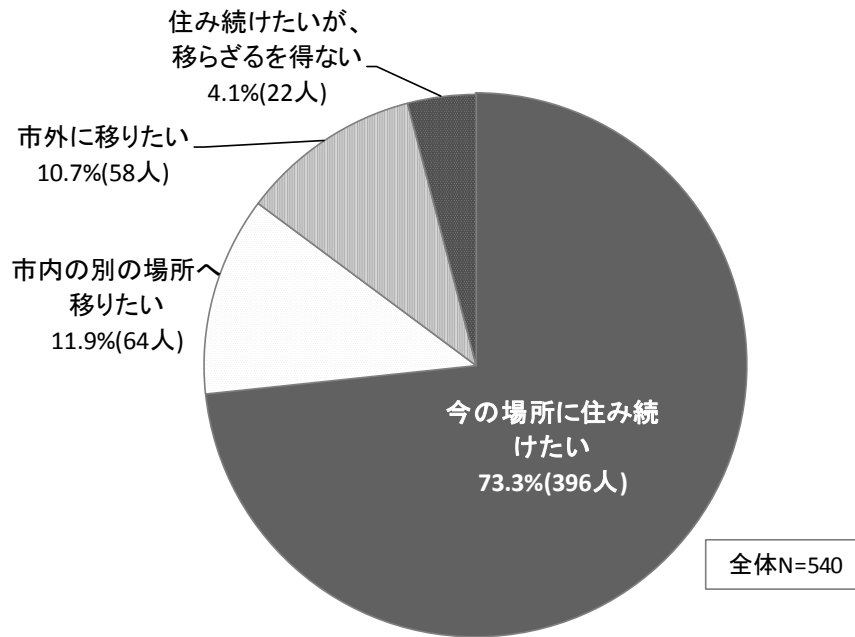
図表 43 大仙市は住みやすいか



2.6.2 「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」と回答した人の割合が7割以上を占めている。

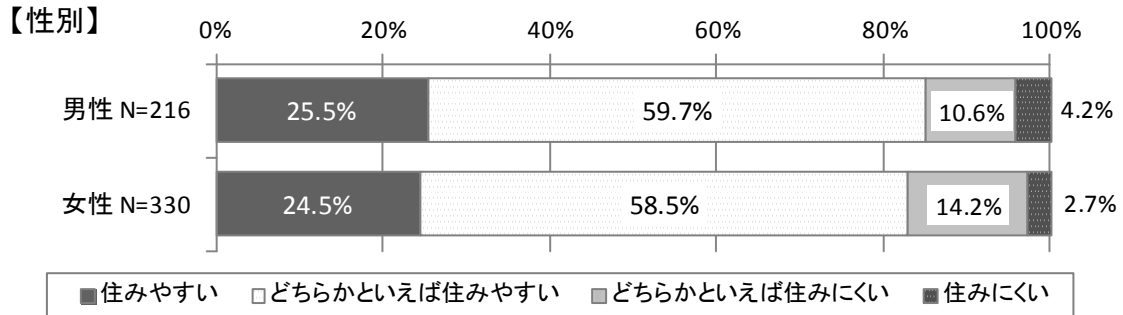
図表 44 大仙市に住み続けたいか



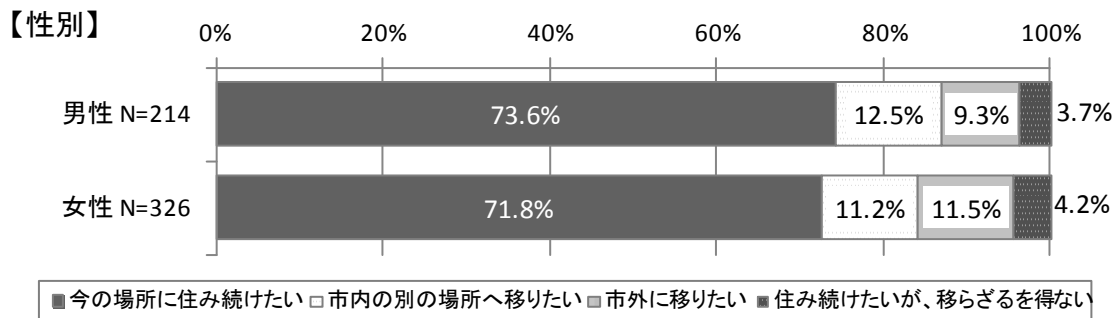
2.6.3 大仙市の住みやすさについての属性別比較

図表 45 性別による「大仙市は住みやすいか」・「大仙市に住み続けたいか」

■大仙市は住みやすいか

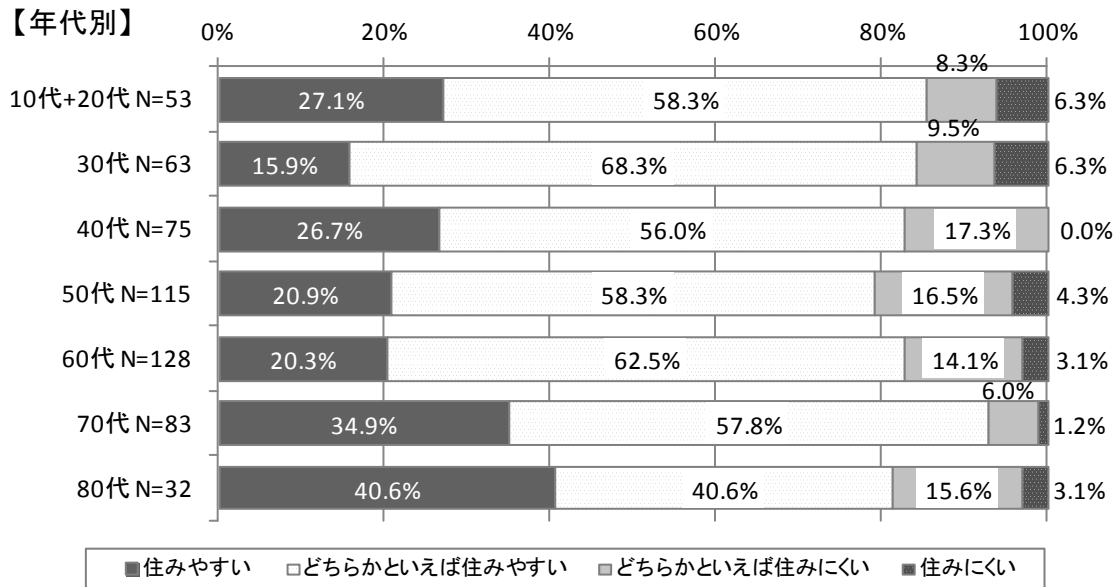


■大仙市に住み続けたいか

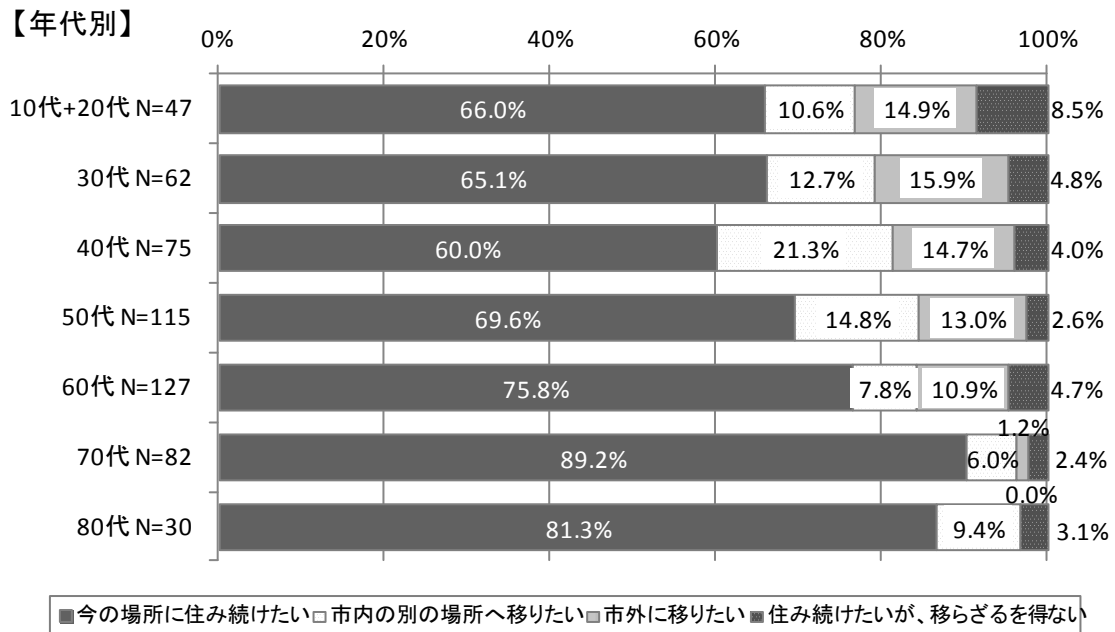


図表 46 年代別による「大仙市は住みやすいか」・「大仙市に住み続けたいか」

■大仙市は住みやすいか

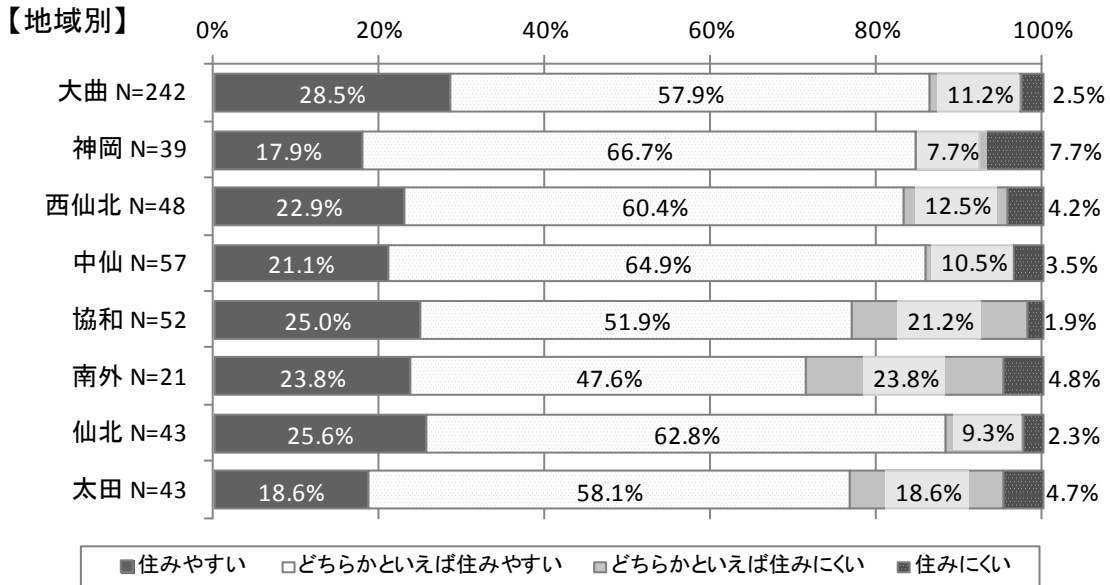


■大仙市に住み続けたいか

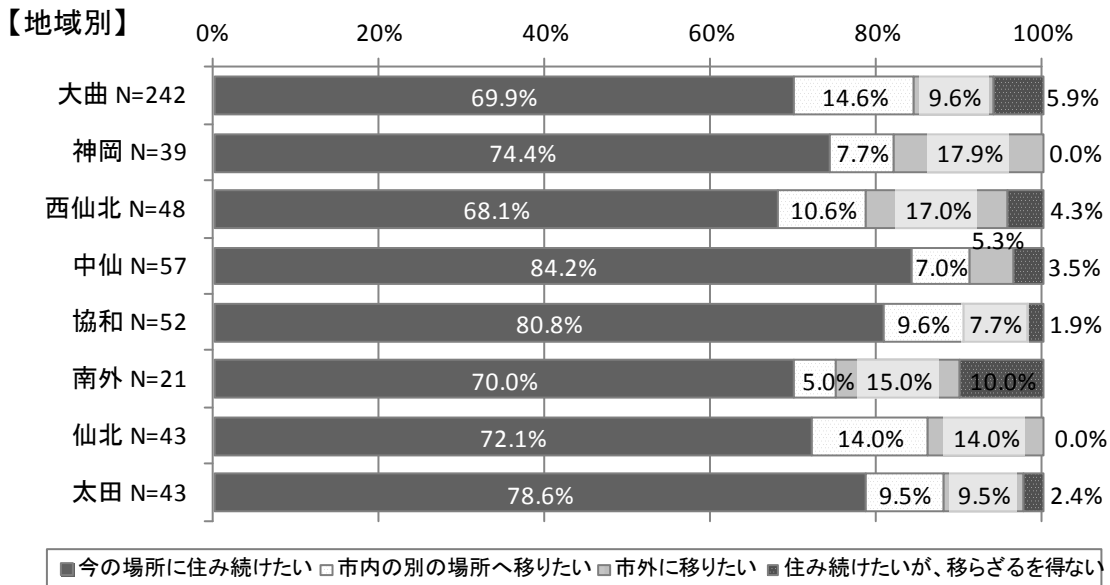


図表 47 地域別による「大仙市は住みやすいか」・「大仙市に住み続けたいか」

■大仙市は住みやすいか



■大仙市に住み続けたいか



2.7 経年比較

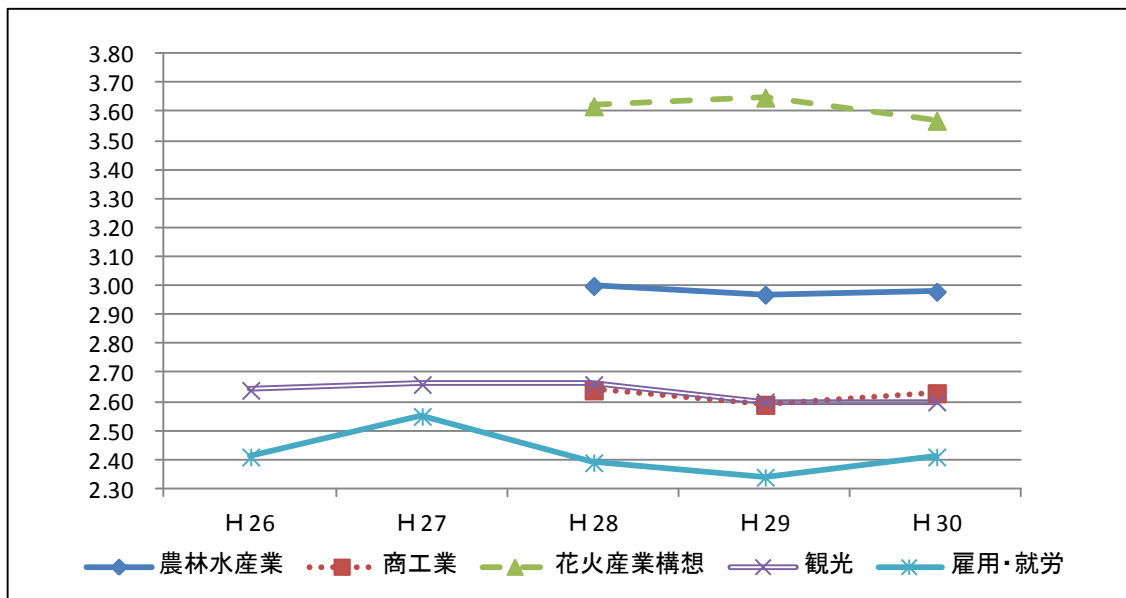
平成26年度から30年度までの過去5年間における満足度、重要度及び要望度についての推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての3年間の推移をまとめた。

なお、満足度、重要度については、平成27年までは大仙市総合計画基本計画、平成28年からは第2次大仙市総合計画基本構想に基づいた設問項目での調査となっているため、経年比較できない項目については「—」で示してある。

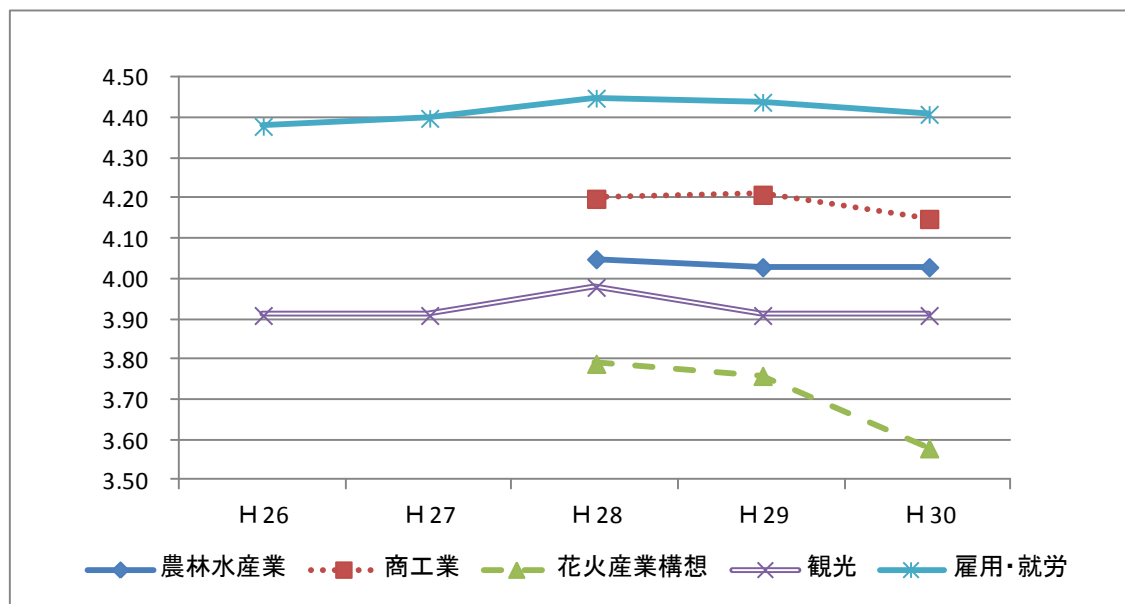
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

全体的に満足度は横ばい傾向で推移している。重要度及び要望度は、「花火産業構想」で大幅な減少傾向、他はわずかな減少傾向で推移している。

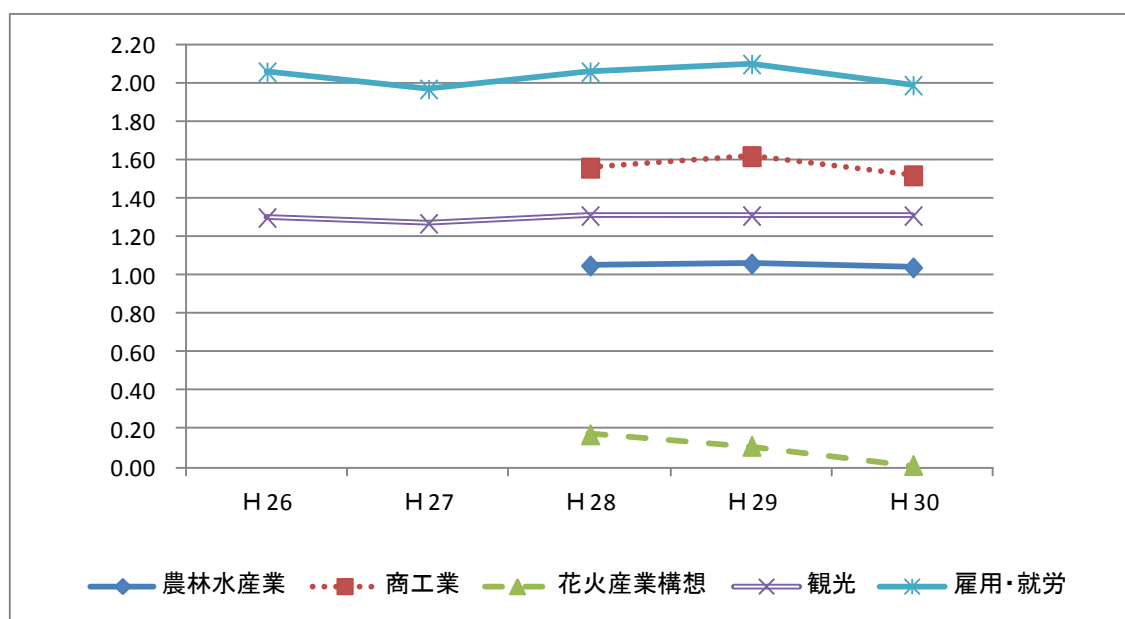
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
農林水産業	—	—	3.00	2.97	2.98
商工業	—	—	2.64	2.59	2.63
花火産業構想	—	—	3.62	3.65	3.57
観光	2.64	2.66	2.66	2.60	2.60
雇用・就労	2.41	2.55	2.39	2.34	2.41



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
農林水産業	—	—	4.05	4.03	4.03
商工業	—	—	4.20	4.21	4.15
花火産業構想	—	—	3.79	3.76	3.58
観光	3.91	3.91	3.98	3.91	3.91
雇用・就労	4.38	4.40	4.45	4.44	4.41



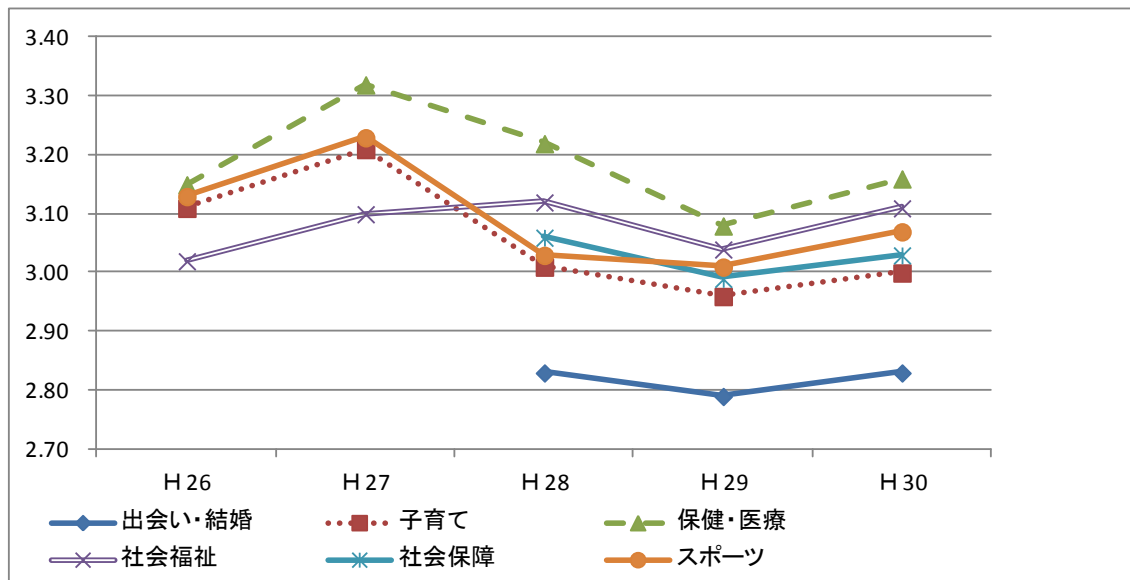
要望度	H26	H27	H28	H29	H30
農林水産業	—	—	1.05	1.06	1.04
商工業	—	—	1.56	1.62	1.52
花火産業構想	—	—	0.17	0.11	0.01
観光	1.30	1.27	1.31	1.31	1.31
雇用・就労	2.06	1.97	2.06	2.10	1.99



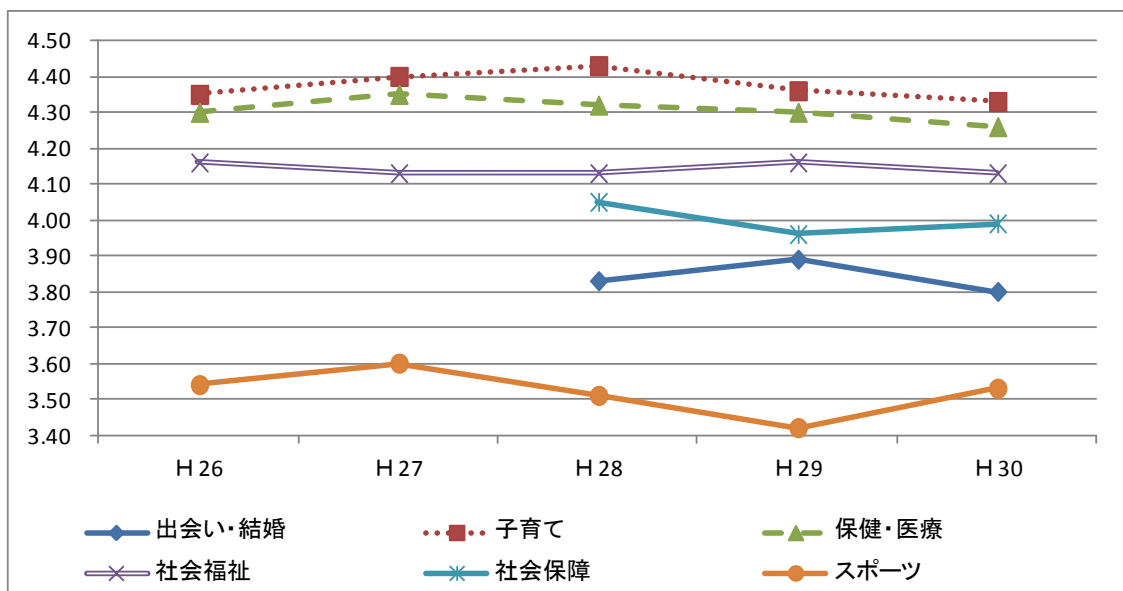
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

昨年度までは、満足度が大幅な減少傾向で推移していたが、今年度は全項目において若干ながら上昇している。重要度及び要望度については、「スポーツ」が他の項目に比べて低く推移している。

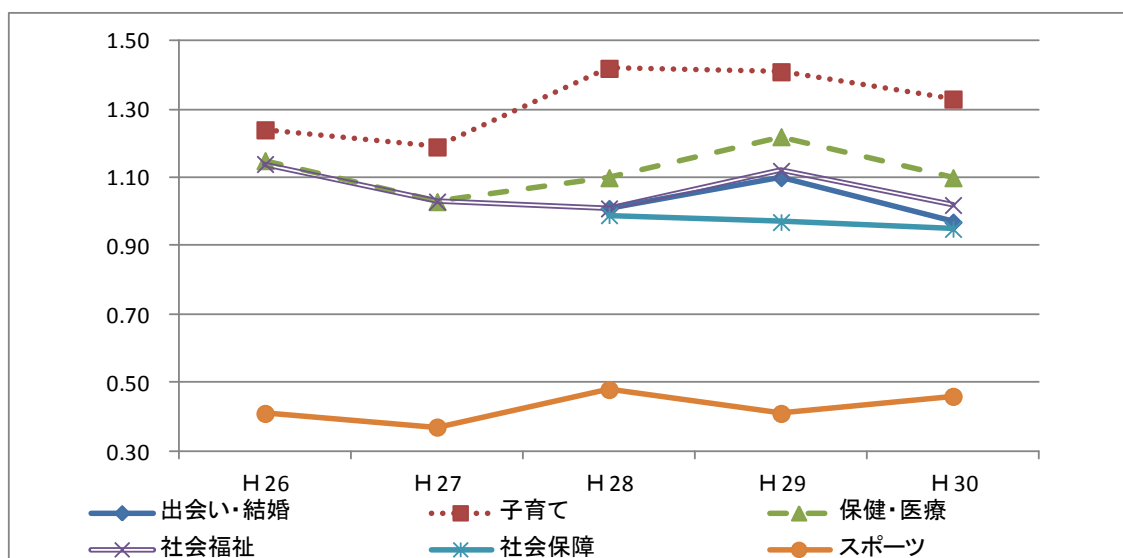
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
出会い・結婚	—	—	2.83	2.79	2.83
子育て	3.11	3.21	3.01	2.96	3.00
保健・医療	3.15	3.32	3.22	3.08	3.16
社会福祉	3.02	3.10	3.12	3.04	3.11
社会保障	—	—	3.06	2.99	3.03
スポーツ	3.13	3.23	3.03	3.01	3.07



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
出会い・結婚	—	—	3.83	3.89	3.80
子育て	4.35	4.40	4.43	4.36	4.33
保健・医療	4.30	4.35	4.32	4.30	4.26
社会福祉	4.16	4.13	4.13	4.16	4.13
社会保障	—	—	4.05	3.96	3.99
スポーツ	3.54	3.60	3.51	3.42	3.53



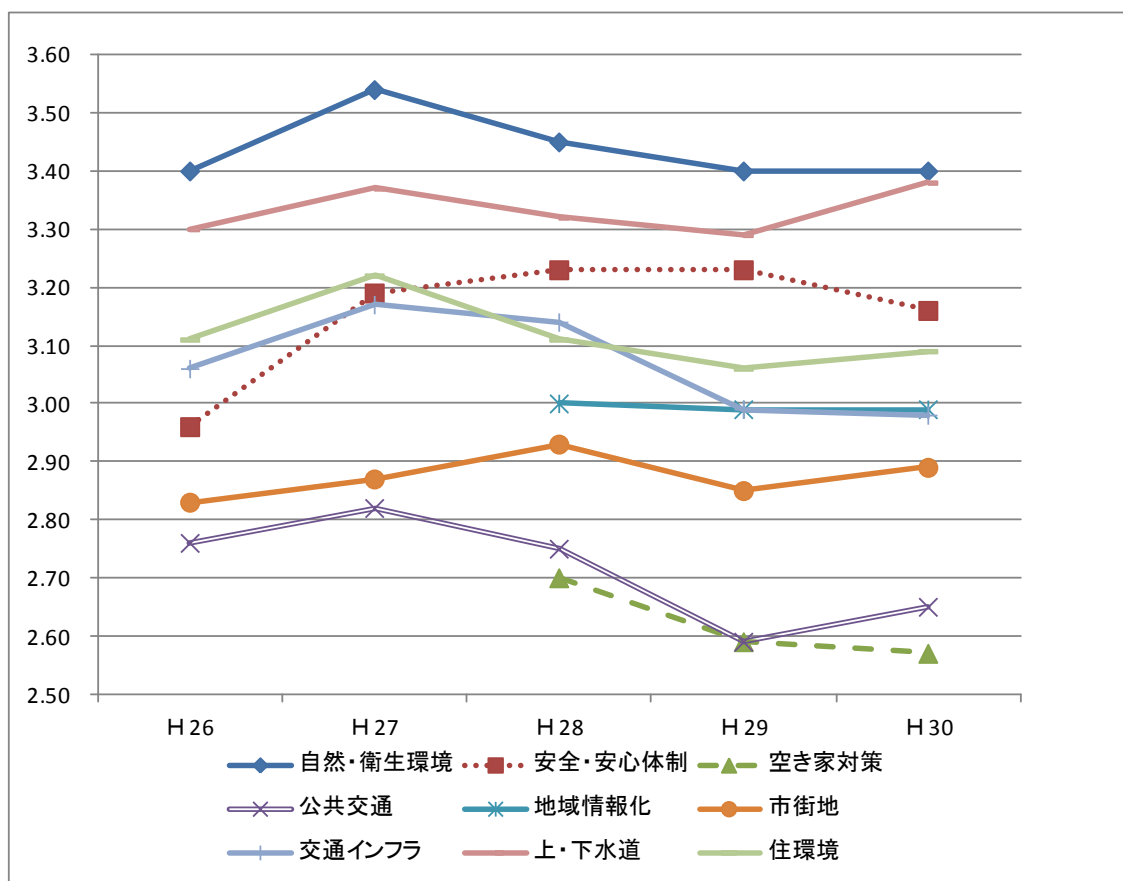
要望度	H26	H27	H28	H29	H30
出会い・結婚	—	—	1.01	1.10	0.97
子育て	1.24	1.19	1.42	1.41	1.33
保健・医療	1.15	1.03	1.10	1.22	1.10
社会福祉	1.14	1.03	1.01	1.12	1.02
社会保障	—	—	0.99	0.97	0.95
スポーツ	0.41	0.37	0.48	0.41	0.46



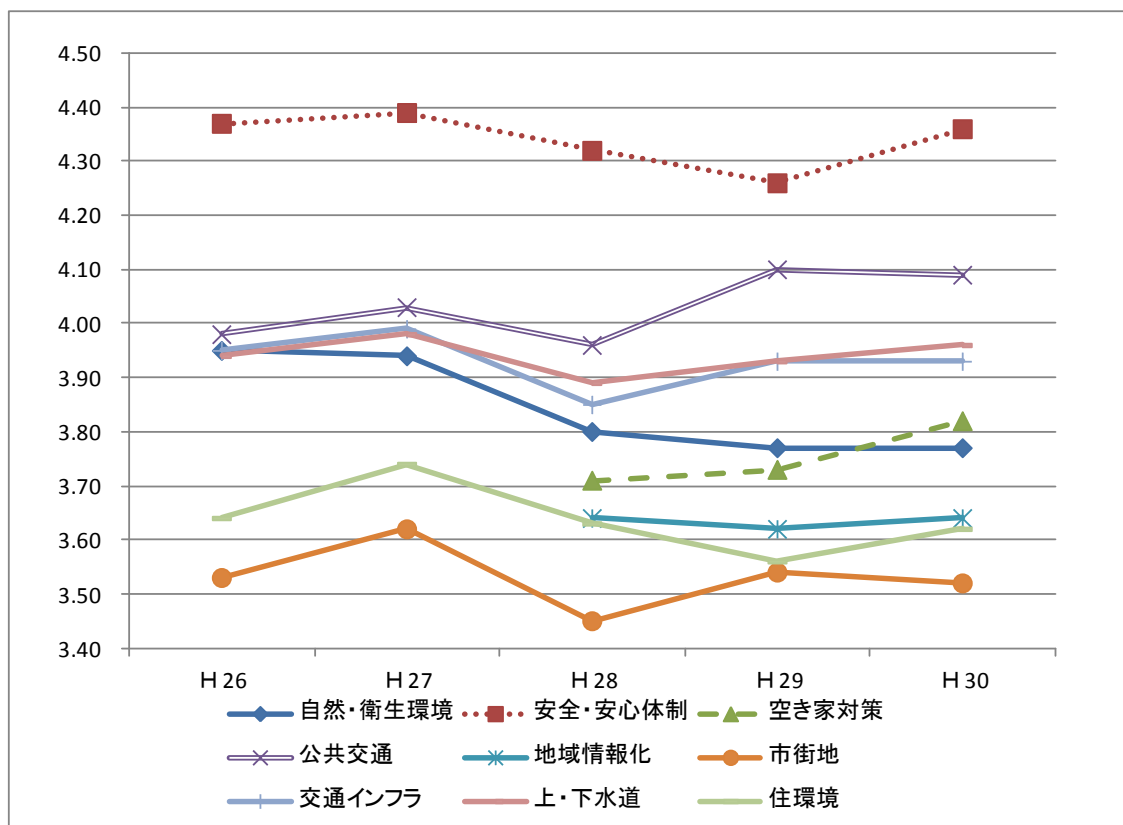
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

すべての項目において満足度は減少傾向で推移しているが、重要度は昨年度から上昇している項目が多く、これに伴い、要望度も上昇している項目が多い。

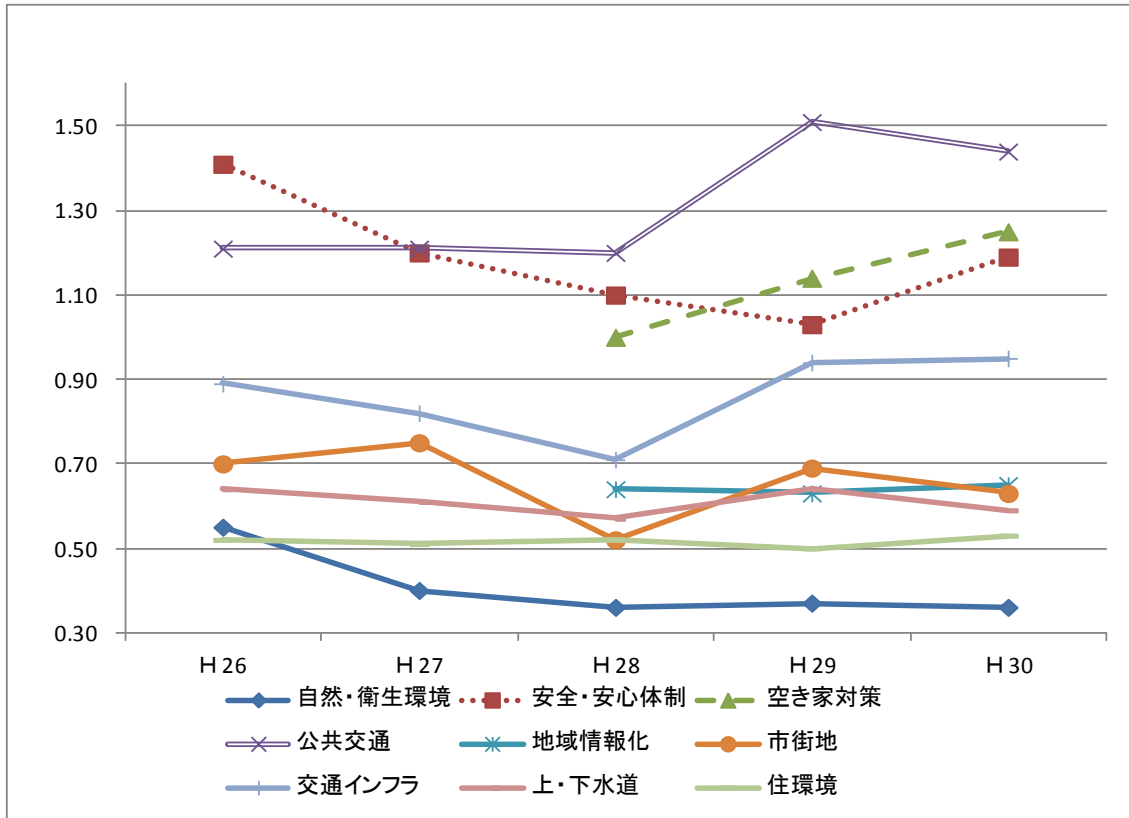
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
自然・衛生環境	3.40	3.54	3.45	3.40	3.40
安全・安心体制	2.96	3.19	3.23	3.23	3.16
空き家対策	—	—	2.70	2.59	2.57
公共交通	2.76	2.82	2.75	2.59	2.65
地域情報化	—	—	3.00	2.99	2.99
市街地	2.83	2.87	2.93	2.85	2.89
交通インフラ	3.06	3.17	3.14	2.99	2.98
上・下水道	3.30	3.37	3.32	3.29	3.38
住環境	3.11	3.22	3.11	3.06	3.09



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
自然・衛生環境	3.95	3.94	3.80	3.77	3.77
安全・安心体制	4.37	4.39	4.32	4.26	4.36
空き家対策	—	—	3.71	3.73	3.82
公共交通	3.98	4.03	3.96	4.10	4.09
地域情報化	—	—	3.64	3.62	3.64
市街地	3.53	3.62	3.45	3.54	3.52
交通インフラ	3.95	3.99	3.85	3.93	3.93
上・下水道	3.94	3.98	3.89	3.93	3.96
住環境	3.64	3.74	3.63	3.56	3.62



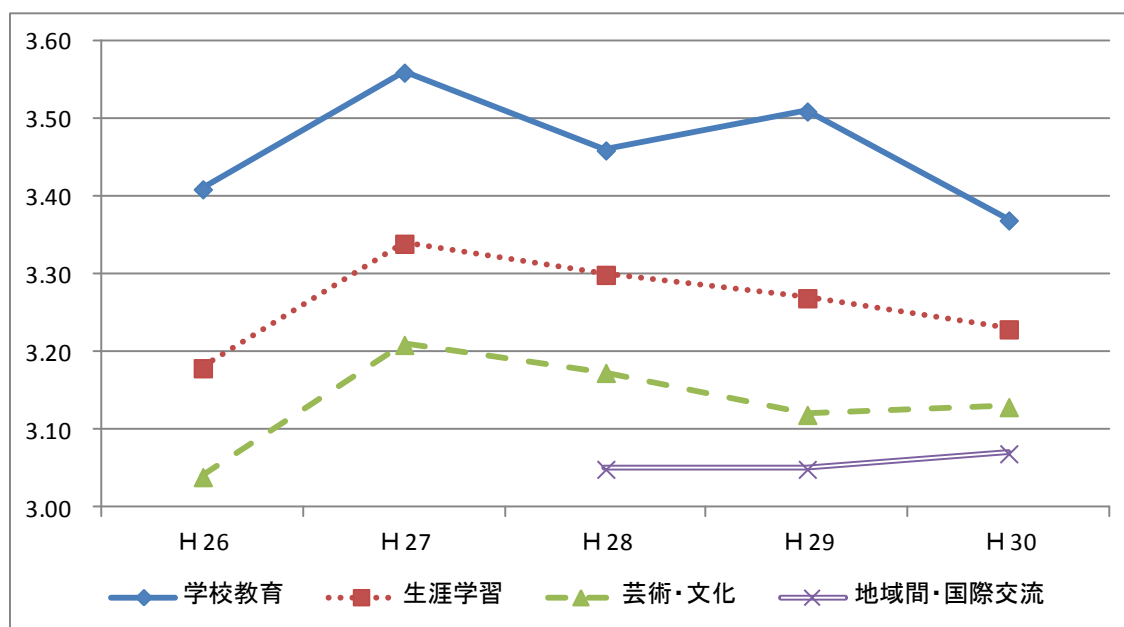
要望度	H26	H27	H28	H29	H30
自然・衛生環境	0.55	0.40	0.36	0.37	0.36
安全・安心体制	1.41	1.20	1.10	1.03	1.19
空き家対策	—	—	1.00	1.14	1.25
公共交通	1.21	1.21	1.20	1.51	1.44
地域情報化	—	—	0.64	0.63	0.65
市街地	0.70	0.75	0.52	0.69	0.63
交通インフラ	0.89	0.82	0.71	0.94	0.95
上・下水道	0.64	0.61	0.57	0.64	0.59
住環境	0.52	0.51	0.52	0.50	0.53



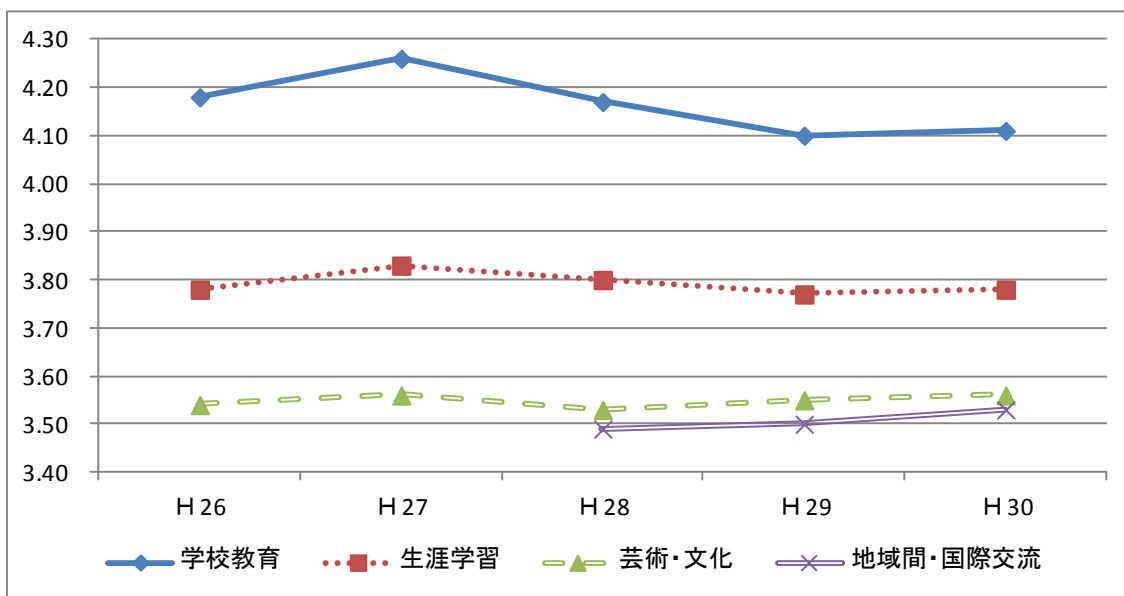
Ⅳ 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

全体的に満足度は小幅な減少傾向であるが、重要度は横ばい傾向で推移している。「学校教育」の要望度は、満足度の減少に伴い大幅に増加している。

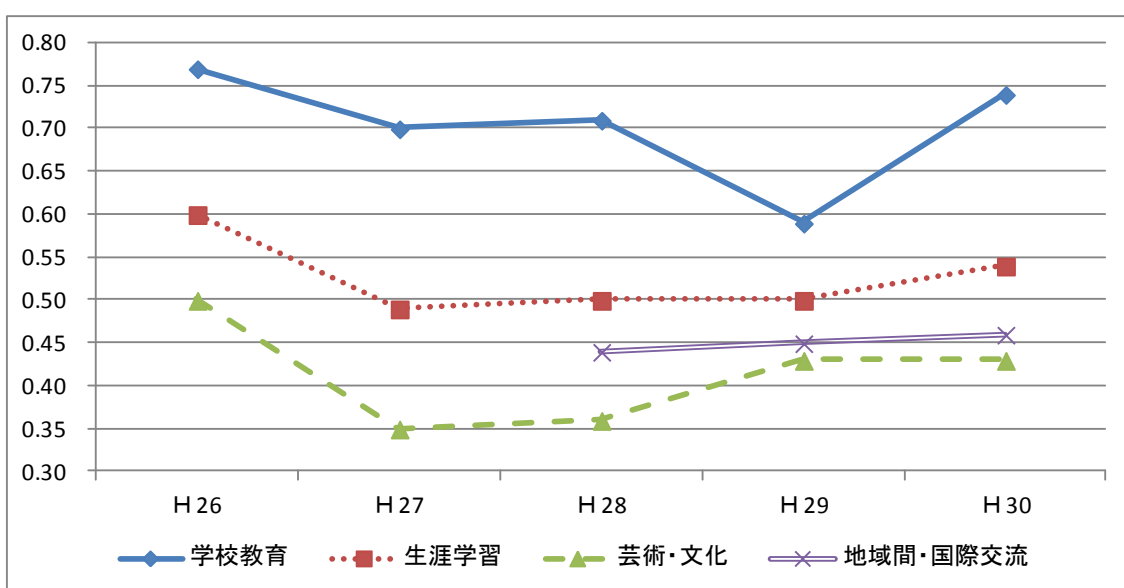
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
学校教育	3.41	3.56	3.46	3.51	3.37
生涯学習	3.18	3.34	3.30	3.27	3.23
芸術・文化	3.04	3.21	3.17	3.12	3.13
地域間・国際交流	—	—	3.05	3.05	3.07



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
学校教育	4.18	4.26	4.17	4.10	4.11
生涯学習	3.78	3.83	3.80	3.77	3.78
芸術・文化	3.54	3.56	3.53	3.55	3.56
地域間・国際交流	—	—	3.49	3.50	3.53



要望度	H26	H27	H28	H29	H30
学校教育	0.77	0.70	0.71	0.59	0.74
生涯学習	0.60	0.49	0.50	0.50	0.54
芸術・文化	0.50	0.35	0.36	0.43	0.43
地域間・国際交流	—	—	0.44	0.45	0.46

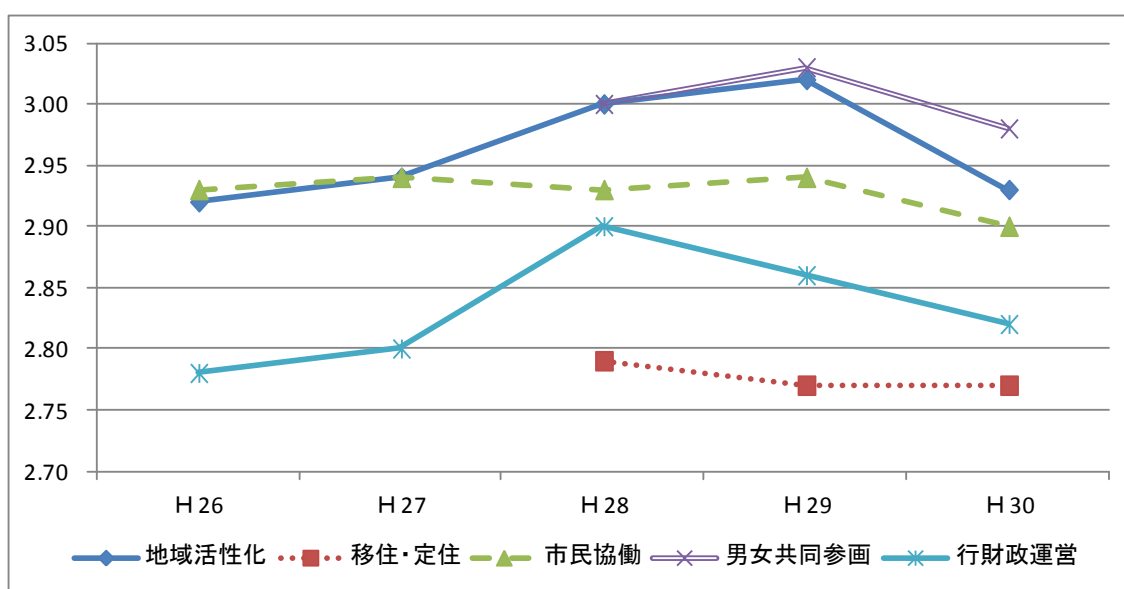


V 時代に合った地域を創ります！

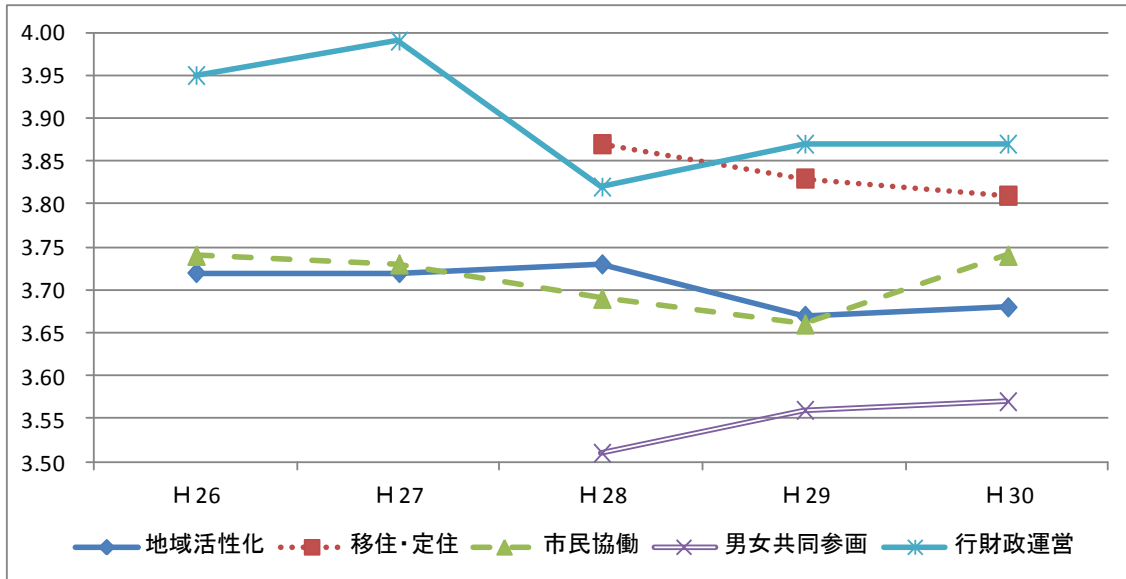
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は全体的に下降傾向で推移している。「市民協働」、「男女共同参画」の重要度は上昇傾向となっている。要望度は全体的に上昇傾向となっている。

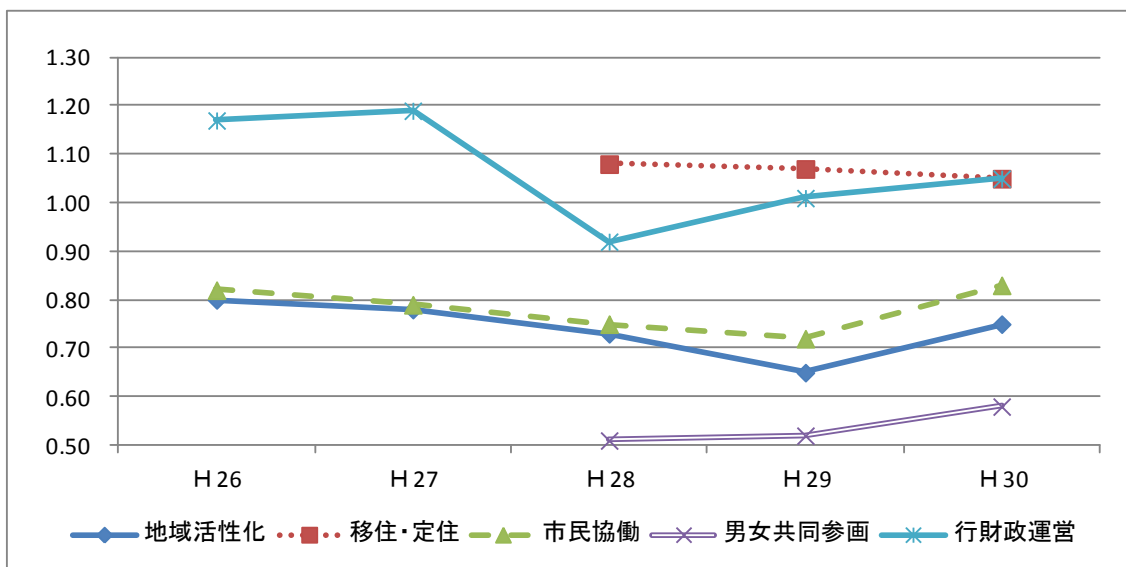
満足度	H26	H27	H28	H29	H30
地域活性化	2.92	2.94	3.00	3.02	2.93
移住・定住	—	—	2.79	2.77	2.77
市民協働	2.93	2.94	2.93	2.94	2.90
男女共同参画	—	—	3.00	3.03	2.98
行財政運営	2.78	2.80	2.90	2.86	2.82



重要度	H26	H27	H28	H29	H30
地域活性化	3.72	3.72	3.73	3.67	3.68
移住・定住	—	—	3.87	3.83	3.81
市民協働	3.74	3.73	3.69	3.66	3.74
男女共同参画	—	—	3.51	3.56	3.57
行財政運営	3.95	3.99	3.82	3.87	3.87



要望度	H26	H27	H28	H29	H30
地域活性化	0.80	0.78	0.73	0.65	0.75
移住・定住	—	—	1.08	1.07	1.05
市民協働	0.82	0.79	0.75	0.72	0.83
男女共同参画	—	—	0.51	0.52	0.58
行財政運営	1.17	1.19	0.92	1.01	1.05



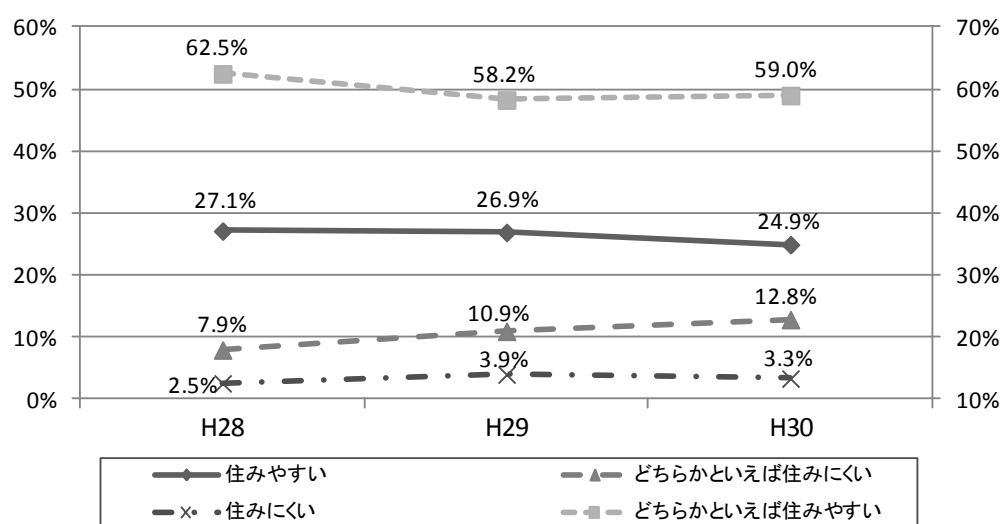
大仙市の住みやすさについて

「大仙市に住みやすいか」について

「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」は下降傾向で推移、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」は上昇傾向で推移している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した



「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は下降傾向、「市外に移りたい」は上昇傾向で推移している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%
市内の別の場所へ移りたい	10.1%	12.4%	11.9%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%
住み続けたいが、移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した

